

# 平成29年度 第3回杉並区外部評価委員会 次第

平成29年11月7日

東棟4階庁議室

## 1 視察

- (1) 施策27 高井戸東小学校
  
- (2) 施策13 高齢者活動支援センター

## 2 ヒアリングの進め方

## 3 所管課事前ヒアリング

- (1) 施策27 学校教育環境の整備・充実
  
- (2) 施策13 高齢者の社会参加の支援

## 4 その他

○外部評価表の作成について

○第4回外部評価委員会（入札監視）

12月4日(月) 午後3時～5時（予定） 区役所東棟4階 庁議室

〈資料〉

資料1 ヒアリング対象施策評価表・事務事業評価表

資料2 外部評価表

# 平成29年度 杉並区施策評価表 I

資料1-1

(00027)

施策	27	学校教育環境の整備・充実
目標	05	人を育み共につながる心豊かなまち
施策担当課	学校整備課	関係課 宮繕課 庶務課 教育人事企画課 済美教育センター

**施策目標**  
 ○安全で良好な学習環境が整備された学校施設で、子どもたちが安心して楽しく学校生活を送っています。  
 ○学校の図書環境が充実し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みが整備され、子どもたちの読書活動が活発になっています。  
 ○電子黒板と情報端末により、動画やカラー画像など、多彩で魅力的なデジタル教材の利用ができる環境が整備されています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	小中一貫校の施設整備(高円寺地区)の設計進捗率 算式・指標説明 改築に係る設計進捗率(基本設計30%・実施設計70%)	指標名(1)	小中学校の老朽改築校数 算式・指標説明 杉並区立小中学校老朽改築計画により着手した校数
指標名(2)	桃井第二小学校の設計進捗率 算式・指標説明 改築に係る設計進捗率(基本設計30%・実施設計70%)	指標名(2)	児童・生徒用端末1台当たりの児童・生徒数 算式・指標説明
指標名(3)	学校司書配置校数 算式・指標説明 学校司書が配置されている小中学校数	指標名(3)	学校図書館の年間平均貸出冊数(児童・生徒一人当たり)(小学校) 算式・指標説明 学校図書館の年間貸出冊数÷児童・生徒数
指標名(4)	教職員用パソコンの配備台数 算式・指標説明 教職員用校務パソコンの配備台数	指標名(4)	学校図書館の年間平均貸出冊数(児童・生徒一人当たり)(中学校) 算式・指標説明 学校図書館の年間貸出冊数÷児童・生徒数
		指標名(5)	算式・指標説明
		指標名(6)	算式・指標説明

区分	単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		目標値	目標年度		
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				
活動指標	活動指標(1)	1	%	0	30	30	70	70	/	
	活動指標(2)	2	%	0	30	30	70	70		
	活動指標(3)	3	校	65	64	64	64	64		
	活動指標(4)	4	台	1,994	2,114	2,146	2,146	2,146		
成果指標	成果指標(1)	5	校	0	5	5	5	5	13	平成33年度
	成果指標(2)	6	人	6.3	6.8	6.3	6.0	5.9	1.3	平成33年度
	成果指標(3)	7	冊	38.5	36.0	40.5	39.0	42.7	40	平成33年度
	成果指標(4)	8	冊	9.1	12	10.4	12	9.8	15	平成33年度
	成果指標(5)	9								
	成果指標(6)	10								
施策コスト	事業費	11	千円	1,861,434	1,996,139	1,899,365	7,699,998	7,583,279	特記事項 成果指標(1)の実績欄の5校には杉並第一小学校の改築事業を含む。	
	(内) 投資的経費等	12	千円	940,614	955,572	885,466	5,911,023	5,831,485		
	(内) 委託費	13	千円	1,159,143	1,192,986	1,118,544	2,425,533	2,330,582		
	職員数	14	人	124.07	122.80	124.99	119.60	123.25		
	再任用職員数	15	人	31.22	29.20	27.21	27.20	26.20		
	非常勤職員数	16	人	5.12	4.10	14.64	15.64	15.02		
	人件費(14+15+16)	17	千円	1,233,989	1,211,733	1,248,881	1,204,626	1,214,910		
	総事業費(11+17)	18	千円	3,095,423	3,207,872	3,148,246	8,904,624	8,798,189		
	国・都等からの補助金等	19	千円	4,976	6,008	19,457	7,892	71,845		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20	%			1.7	177.6	179.5		
人件費比率(17÷18)	21	%	39.9	37.8	39.7	13.5	13.8			

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国、都の動き、 区民意見等)</p>	<p>平成25年11月に策定された「インフラ長寿命化基本計画」(インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定)を受け、平成32年頃までに個別施設毎の長寿命化計画(個別施設計画)を策定することとなっており、地方公共団体に対し校舎等の改築から長寿命化改修への転換を求めています。また、文部科学省の「次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォース」報告の中で、教員の長時間労働状況を改善し、子どもと向き合う時間を確保する改善方策の1つとして、すでに運用している校務システムによる業務効率化があげられました。</p> <p>学校図書館の更なる整備・充実のための参考となるよう平成28年に国が策定した「学校図書館ガイドライン」において、学校図書館の運営・利活用、図書資料の充実が求められています。</p>
---	---

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>高円寺地区における小中一貫教育校の整備では、区内2校目となる施設一体型小中一貫教育校を現在の高円寺中学校の敷地に建設するための実施設計を終え、建設工事等に係る契約議案について区議会の議決を得ました。杉並第一小学校の改築・複合化については、施設の基本設計等を進めましたが、近隣の病院の移転改築計画が明らかになったことを受け、事業を一時中断し、現在の病院用地への学校の移転改築の可能性等を改めて検討することとしました。検討の結果、平成29年5月に「杉並第一小学校等施設整備等方針」を策定し、病院が移転改築した後の跡地に杉並第一小学校を移転改築することとしました。桃井第二小学校の老朽改築では、実施設計を行うとともに改築工事期間中における仮設校舎、仮設体育館の校内整備等を進めました。</p> <p>学校ICTの推進については、教員研修の充実やICT活用研究指定校を1校拡大し、当該校にタブレットPCを配備しました。この結果、成果指標である「児童・生徒用端末1台当たりの児童・生徒数」は改善されています。また、全小中学校でICTを活用した公開授業を実施して保護者や地域の方々の理解促進等に取り組みました。学校図書館では、新たに学校図書館活用モデル実践校を8校指定し、蔵書の充実と図書資料の活用促進を図った結果、成果指標の「学校図書館の年間平均貸出冊数」は、中学校は微減となったものの、小学校で増加しました。</p>
--	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="391 813 718 869"> <p>今後の施策の方向性</p> </td> <td data-bbox="718 813 1548 869"> <p>現状維持</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="391 869 718 1274"> <p>今後の進め方</p> </td> <td data-bbox="718 869 1548 1274"> <p>高円寺地区の小中一貫教育校の整備及び、桃井第二小学校の改築については、それぞれ平成31年4月開校に向け、引き続き着実な取組を進めています。</p> <p>学校ICTの推進ではタブレットPCの計画的な配備を進め、小中学校の全普通教室に設置した電子黒板機能付プロジェクターと連動しつつ、より効果的な授業が実施されるよう支援して、子どもたちの学びの可能性を拓けます。</p> <p>学校図書館については、学校図書館活用モデル実践校の実績等を踏まえ、平成29年度以降は、活用実践校として計画的に拡大を図り、児童・生徒の読書習慣を培うとともに学習活動の支援機能を充実していきます。また、学校図書館の機能の充実に向け、「学校図書館ガイドライン」等も踏まえ、今後、より一層の蔵書の充実を図るとともに、司書教諭と学校司書の連携・協力をこれまで以上に密にし、学校全体として組織的・計画的に学校図書館の運営に当たります。</p> </td> </tr> </table>	<p>今後の施策の方向性</p>	<p>現状維持</p>	<p>今後の進め方</p>	<p>高円寺地区の小中一貫教育校の整備及び、桃井第二小学校の改築については、それぞれ平成31年4月開校に向け、引き続き着実な取組を進めています。</p> <p>学校ICTの推進ではタブレットPCの計画的な配備を進め、小中学校の全普通教室に設置した電子黒板機能付プロジェクターと連動しつつ、より効果的な授業が実施されるよう支援して、子どもたちの学びの可能性を拓けます。</p> <p>学校図書館については、学校図書館活用モデル実践校の実績等を踏まえ、平成29年度以降は、活用実践校として計画的に拡大を図り、児童・生徒の読書習慣を培うとともに学習活動の支援機能を充実していきます。また、学校図書館の機能の充実に向け、「学校図書館ガイドライン」等も踏まえ、今後、より一層の蔵書の充実を図るとともに、司書教諭と学校司書の連携・協力をこれまで以上に密にし、学校全体として組織的・計画的に学校図書館の運営に当たります。</p>
<p>今後の施策の方向性</p>	<p>現状維持</p>				
<p>今後の進め方</p>	<p>高円寺地区の小中一貫教育校の整備及び、桃井第二小学校の改築については、それぞれ平成31年4月開校に向け、引き続き着実な取組を進めています。</p> <p>学校ICTの推進ではタブレットPCの計画的な配備を進め、小中学校の全普通教室に設置した電子黒板機能付プロジェクターと連動しつつ、より効果的な授業が実施されるよう支援して、子どもたちの学びの可能性を拓けます。</p> <p>学校図書館については、学校図書館活用モデル実践校の実績等を踏まえ、平成29年度以降は、活用実践校として計画的に拡大を図り、児童・生徒の読書習慣を培うとともに学習活動の支援機能を充実していきます。また、学校図書館の機能の充実に向け、「学校図書館ガイドライン」等も踏まえ、今後、より一層の蔵書の充実を図るとともに、司書教諭と学校司書の連携・協力をこれまで以上に密にし、学校全体として組織的・計画的に学校図書館の運営に当たります。</p>				

# 平成29年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 27】【施策名称 学校教育環境の整備・充実】

金額の単位は千円

( 00027 )

整理番号	事務事業名称	位置付		平成28年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1 482	エコスクールの推進			5,987	4,110	10,097	現状維持
2 492	情報教育の推進			768,888	25,686	794,574	現状維持
3 503	学校図書館の充実			156,162	22,664	178,826	現状維持
4 509	小学校の維持管理			94,828	502,835	597,663	現状維持
5 515	小学校の施設整備			369,098	178,884	547,982	現状維持
6 517	小学校空調設備整備			80,981	1,113	82,094	現状維持
7 518	小中一貫校の施設整備（高円寺地区）			349,758	21,234	370,992	現状維持
8 519	杉並第一小学校の改築			153,713	22,775	176,488	縮小（廃止）
9 520	桃井第二小学校の改築			243,151	18,040	261,191	現状維持
10 522	中学校の維持管理			376,151	205,123	581,274	現状維持
11 527	中学校の施設整備			533,957	181,623	715,580	現状維持
12 528	中学校空調設備整備			56,808	685	57,493	現状維持
13 529	小中一貫校の施設整備（高円寺地区）			349,778	21,148	370,926	現状維持
14 615	学校用地取得			4,044,019	8,990	4,053,009	縮小（廃止）
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				7,583,279	1,214,910	8,798,189	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

# 平成29年度杉並区施策評価表（評価指標一覧）

（ 00027 ）

上段：目標値  
下段：実績値

【施策 27 】【施策名称 学校教育環境の整備・充実】

指標区分	指標名 算定式・指標説明等	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	小中一貫校の施設整備（高円寺地区）の設計進捗率 改築に係る設計進捗率（基本設計30%・実施設計70%）	%	0	30	70	0
			0	30	70	0
活動指標	桃井第二小学校の設計進捗率 改築に係る設計進捗率（基本設計30%・実施設計70%）	%	0	30	70	0
			0	30	70	0
活動指標	学校司書配置校数 学校司書が配置されている小中学校校数	校	65	64	64	64
			65	64	64	0
活動指標	教職員用パソコンの配備台数 教職員用校務パソコンの配備台数	台	1,994	2,114	2,146	2,145
			1,994	2,146	2,146	0
成果指標	小中学校の老朽改築校数 杉並区立小中学校老朽改築計画により着手した校数	校	0	5	5	6
			0	5	5	0
成果指標	児童・生徒用端末1台当たりの児童・生徒数	人	6.9	6.8	6.0	4.6
			6.3	6.3	5.9	0.0
成果指標	学校図書館の年間平均貸出冊数（児童・生徒一人当たり）（小学校） 学校図書館の年間貸出冊数÷児童・生徒数	冊	36.0	36.0	39.0	40.5
			38.5	40.5	42.7	0.0
成果指標	学校図書館の年間平均貸出冊数（児童・生徒一人当たり）（中学校） 学校図書館の年間貸出冊数÷児童・生徒数	冊	12	12	12	14
			9.1	10.4	9.8	0.0
成果指標						
成果指標						

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00461)

事務事業名称		エコスクールの推進			款	07	項	01	目	02	事業	002	整理番号	482	
現担当課名		学校整備課			係名			教育施設整備係			連絡先電話番号	1682	昨年度整理番号	478	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分	投資事業	
事務事業の概要	事業開始	平成13年度													
	平成28年度担当課名	学校整備課										事業評価区分	一般		
	対象	区立小・中学校の児童、生徒及び施設設備			根拠法令等	(1)	学校教育法第5条								
					(2)	地方自治法第180条の2									
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	既存学校施設の緑化・エコスクール改修を計画的に進め、環境に配慮した学校運営及び学校を核とした地域の環境教育の推進を図る。			活動指標	指標名(1)	校庭芝生化実施校数								
				指標説明	指標名(2)										
				指標説明	指標名(2)										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	「杉並区エコスクール事業検討委員会報告」に基づき、学校施設の緑化(校庭・屋上・壁面)、ピオトープの整備等を実施する。			成果指標	指標名(1)	校庭芝生化面積									
				指標説明	指標名(2)										
				指標説明	指標名(2)										
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	校	2	2	2	2	2	100.0						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3	m <sup>2</sup>	264.5	200.0	259.3	200.0	271.7	200.0	135.9					
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	8,382	6,800	6,378	6,800	5,987	6,300	平成28年度予算執行率(%)	88.0				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	8,119	6,000	5,616	6,000	5,724	6,000						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.47	0.45	0.47	0.45	0.48	0.45					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	4,141	3,965	4,111	3,936	4,110	3,853					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	12,523	10,765	10,489	10,736	10,097	10,153						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	6,261,500	5,382,500	5,244,500	5,368,000	5,048,500	5,076,500						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	4,968	6,000	5,616	6,000	5,724	6,000					
その他の補助金等		19	千円	8	8	15	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	4,976	6,008	5,631	6,000	5,724	6,000						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	7,547	4,757	4,858	4,736	4,373	4,153						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	482
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		校庭芝生化	2	校	5,724
		その他(芝生用備品の物置、肥料の購入ほか)			263
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	校庭の一部芝生化を小学校2校で実施しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度の校庭緑化事業(芝生化・ピオトープ整備)着手以降、平成19、20年度の二次にわたる「エコスクール化検討懇談会」報告を踏まえたエコスクール化に取り組んできました。平成24年度には、小・中学校の普通教室にエアコンが設置されたこと等を踏まえた、エコスクール事業の見直しを行い、エコスクール事業検討委員会報告を取りまとめ、以降、同報告に基づく事業を進めています。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	校庭芝生化については、保護者等から養生期間に校庭が使えないこと等に対する意見・要望などを受けています。 また、夏の暑さ対策として、早期に全校でエコスクール化を実現することの要望や、校庭・屋上・壁面緑化の維持管理へのサポート及び予算配分を求める要望があります。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	「エコスクール事業検討委員会報告」に基づき、エコスクール事業を実施していきます。 既存校については、小規模(100~150m程度)の校庭緑地化を行い、緑地化を推進します。 改築校については、校庭・屋上・ピオトープなどみどりの創出や庇の設置や高気密にするなど建物自体の工夫によるエコスクールの推進を目指します。			
評価と課題		「エコスクール事業検討委員会報告」に基づき本事業を実施し、改築校については、みどりの創出と建物自体の工夫を行い、着実に環境改善や省エネ施設にすることが進められました。既存校については、校庭一部芝生化により環境改善と教育効果の向上が図られました。 引き続き、改築校・既存校ともに各学校の実情に合わせエコスクール事業を実施をします。実施にあたっては、学校関係者の理解と協力が不可欠であり、十分に調整を行って実施します。 新たな課題として、防災機能強化や環境学習の点から、太陽光発電と蓄電池の設置が求められ、別途事業により実施しました。これも、引き続き拡充を図ります。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	対象の見直し			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	今後のエコスクール事業は、引き続き「みどりの創出」と「建物自体の工夫」を組み合わせ実施します。実施にあたっては、各学校の規模・形状など実情に即したエコスクール化を図り、教育施設の整備充実を図っていきます。 みどりの創出のうち、校庭緑化については、全小中学校の芝生化(一部分含む)を目指し整備します。屋上・壁面緑化、ピオトープについても環境学習の面で効果があり、学校の施設形態を踏まえて整備を進めていきます。 建物自体の工夫については、高気密・高断熱化と自然通風に配慮した「省エネ施設」に重点を置いて整備していきます。 また、太陽光発電・蓄電池については、関係各課と調整のうえ、各学校の形態に応じて設置し防災機能強化に取り組めます。			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00473)

事務事業名称		情報教育の推進				款	07	項	01	目	03	事業	003	整理番号	492	
現担当課名		庶務課		係名		学校ICT推進担当係		連絡先電話番号		1608		昨年度整理番号		488		
上位施策No・施策名											27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成2年度		実行計画事業		目標05		施策27		計画事業04		主要事業(区政経営報告書掲載事業)				
	平成28年度担当課名	庶務課										事業評価区分		一般		
	対象	区立小・中・養護学校の児童・生徒及び教職員				根拠法令等		(1)		高度情報通信ネットワーク社会形成基本法、新たな情報通信技術戦略(平成22年)						
								(2)		教育の情報化ビジョン(平成22年文部科学省)						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	校務のICT活用促進とともに、校内のICT環境整備を進め、日常の授業におけるICT活用で児童・生徒の学力と情報活用能力の向上を図る。				活動指標		指標名(1)		教職員用パソコンの配備台数						
							指標説明		教育用パソコン1台当たりの児童・生徒数							
					指標名(2)		指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	教職員用校務パソコンの配備及び同システムの維持管理 教育用パソコン(パソコン教室、教室用パソコン、学校図書館用パソコン)の維持管理				成果指標		指標名(1)		教職員用パソコンの配備台数							
							指標説明		校務システム用クライアントパソコン(校別パソコン)の配備台数							
							指標名(2)		児童・生徒用端末1台当たりの児童・生徒数							
							指標説明		児童・生徒の利用を専用とした情報端末1台当たりの児童・生徒数							
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	台	1,994	2,144	2,146	2,146	2,146	2,146	100.0						
	活動指標(2)	2	人	3.7	3.7	3.3	3.3	4.0	3.3	121.2						
	成果指標(1)	3	台	1,994	2,144	2,146	2,146	2,146	2,146	100.0						
	成果指標(2)	4	人	6.3	6.8	6.3	6.0	5.9	4.6	98.3						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	641,687	728,950	715,156	785,119	768,888	1,208,683	平成28年度 予算執行率(%)	97.9					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	114,648	109,473	108,918	208,048	203,989	390,725							
	職員数	常勤職員数	8	人	2.60	2.00	2.50	2.00	3.00	2.00						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	22,906	17,620	21,868	17,494	25,686	17,124						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	664,593	746,570	737,024	802,613	794,574	1,225,807							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	333,296	348,214	343,441	374,004	370,258	571,205							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	1,892	15,225	61,522						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	1,892	15,225	61,522							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	664,593	746,570	737,024	800,721	779,349	1,164,285							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	492
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		校務システム用パソコン、サーバ等機器賃借、システム運用保守			
		電子黒板機能付プロジェクター、教室パソコン、タブレットPCの賃貸借			208,120
		コンピュータ教室機器の賃貸借、ソフトウェアの購入			191,363
		区立小学校ネットワーク設備整備委託	12	校	47,998
		その他（図書館システム使用料、緊急メール配信システム運用 ほか）			28,931
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>小学校12校のLANケーブルを更新する工事を行い、校内LANの通信環境の改善を図るとともに、新たにタブレットPCを高井戸東小学校へ導入し、小学校5校と小中一貫教育校1校の計6校で運用、調査・研究を進めました。また、各学校において全ての普通教室に配備した電子黒板機能付プロジェクターを活用した授業を実践しました。このほか杉並区のデータセンター及び区立学校等の校務システムの賃貸借契約満了に伴う機器類の入れ替えと、ソフトウェア類の更新を行うなど学校ICT環境を整備しています。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>H2：中学校11校コンピュータ教室設置/H13：全校でネット接続環境整備/H17：校務システムと図書館システムのモデル校導入/H18：中学校教室ネット接続回線架設/H19：小学校教室ネット接続回線架設・全校図書館システム導入・全校教室パソコン配備・全校教職員校務パソコン配備/H20：基幹アプリケーション「スクールオフィス」による校務システムを稼働/H24：校務システム更新及び新学習指導要領に基づくシステム改修の実施/H26：電子黒板機能付プロジェクターの整備/H27：課題研究校に対するタブレットPCの重点配備/H28：小学校12校のLANケーブルを更新/H29：小学校21校、中学校20校、特別支援学校1校のLANケーブルを更新</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>小学校PTA協議会からICT利活用を促進するため、ICT支援員の配置日数を増やすこと、教員の指導力向上、中学校PTA協議会からデジタル教科書、学習用アプリ等の教材の整備、普通教室以外の教室や体育館へのICT環境整備に関する予算要望が提出されています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>各学校から校務システム用端末機の非常勤講師などに対する増設要望があります。同時に、教員に対する各学校における情報セキュリティ対策を強化することが必要です。また、動画コンテンツを実装した多彩なデジタル教材が増え、ICT機器を活用する教員の授業スキルの向上が求められています。普通教室や特別教室の電子黒板を日常的に授業で利用するとともに、タブレットPCの配備と無線LAN環境が整備されることで、校内のどこでも情報端末を利用した授業が可能になってきています。</p>			
評価と課題	<p>デジタル教材を電子黒板機能付プロジェクターに投影したり、同プロジェクターとタブレットPCを連動させたりする授業を積極的に進めることで、児童・生徒の学びをより深く豊かにすることに寄与しています。今後とも、タブレットPCの計画的配備を進めることで、指標として掲げる「児童・生徒用端末1台当たりの児童・生徒数」について、各年度の目標達成を図っていきます。また、現在の校務システムの基幹アプリケーションである「スクールオフィス」の保守サポートが、平成32年度をもって終了するため、後継校務システムへの移行に向けた検討・準備を進めていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>校務システム導入により、教員が授業準備（教材研究）にかかる時間や子どもとふれ合う時間を増やすことを目指し、学校業務の効率化を進めてきました。現在の校務システムの基幹アプリケーションとなっている「スクールオフィス」のサポートが平成32年度で終了するため、平成29年度中に後継となるシステムへの移行に向けた調査検討を行い、平成30年度当初にプロポーザル方式で新システムを決定し、平成32年4月から新システムの稼働を図っていきます。平成29年末に改築予定校を除く全小中学校と特別支援学校のLANケーブル更新工事が完了し、通信環境が改善されます。今後は、平成31年4月開校予定の高円寺地域小中一貫校等へのタブレットPCの配置を進めていきます。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00487)

事務事業名称 学校図書館の充実			款 07	項 01	目 03	事業 018	整理番号 503			
現担当課名 教育人事企画課		係名 教育人事係		連絡先電話番号 1654		昨年度整理番号 501				
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 既定事業				
事業開始 平成21年度		実行計画事業 目標 05 施策 27		計画事業 03						
平成28年度担当課名 教育人事企画課						事業評価区分 一般				
対象 杉並区立小・中学校の児童・生徒		根拠法令等 (1) 杉並区非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例								
		(2) 学校図書館法								
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標		学校司書配置校数					
	学校司書を配置し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みを整備し、学校図書館を「読書センター」「学習センター」「情報センター」として機能させ、学校図書館を活用した教育活動を推進する。		指標名(1)							
			指標説明							
			指標名(2)							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		指標説明								
学校図書館の運営体制の充実・強化を図り、学校の経営力・教育力を高めていくため、区立小中学校に学校司書を配置する。 学校図書館の蔵書の充実を図る。 学校図書館を活用した教育活動の推進に向け支援を行う。 学校司書の資質向上を図る。		成果指標		学校図書館の年間平均貸出冊数(児童・生徒一人当たり)(小学校)						
		指標名(1)		学校図書館の年間貸出冊数÷児童・生徒数						
		指標説明								
		指標名(2)		学校図書館の年間平均貸出冊数(児童・生徒一人当たり)(中学校)						
		指標説明		学校図書館の年間貸出冊数÷児童・生徒数						
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度	
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 校	65	64	64	64	64	64	100.0	
	活動指標(2)	2								
	成果指標(1)	3 冊	38.5	36.0	40.5	39.0	42.7	40.5	109.5	
	成果指標(2)	4 冊	9.1	12.0	10.4	12.0	9.8	14.0	81.7	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	141,011	150,711	142,521	161,787	156,162	167,410	平成28年度予算執行率(%) 96.5	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成28年度から済美教育センターが所掌する事務に係る経費(学校図書館支援に係る経費)が本事業予算に組み込まれたため、平成27年度に比べ事業費が増額しています。	
	(内)委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.50	1.50	1.50	2.30	2.30		2.30
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00		1.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	13,215	13,215	13,121	20,118	19,693		19,693
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	2,935	2,971		2,971
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	154,226	163,926	155,642	184,840	178,826	190,074		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	2,372,708	2,561,344	2,431,906	2,888,125	2,794,156	2,969,906		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	154,226	163,926	155,642	184,840	178,826	190,074		
受益者負担比率(16÷14)		22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	503
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		学校司書に対する報酬・旅費の支出	64	人	149,196
		学校図書館活用モデル実践校事業	8	校	3,995
		学校図書館支援パート報酬・旅費の支出	3	人	2,868
		学校司書研修講師謝礼	5	人	83
		その他(学校図書館研究用図書購入)			20
(2) 事業実績	<p>区立小・中学校全校に学校司書を配置し、教員やボランティア等との協働及び学校図書館サポートデスクにより、学校図書館の蔵書の充実・適正管理や館内の整備を行い、学校図書館を活用した授業・読書活動の充実を図りました。また、学校図書館活用モデル実践校を小学校3校、中学校5校とし、蔵書の充実と学校図書館活用の推進を図りました。学校司書に対しては月1回研修を実施し、資質の向上を図りました。平成28年度における学校図書館の1人当たり年間貸し出し冊数は、小学校が42.7冊と伸びましたが、中学校では9.8冊と前年度を若干下回りました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>学校図書館の充実のため、平成21年度から段階的に学校司書を配置し、平成24年度からは小・中学校全校に配置しています。学校図書館サポートデスクでは各学校図書館の支援を行い、学校図書館の整備・活用を推進してきました。学校図書館の蔵書数について国で定めた基準値は、まだ全校で達成するには至らない状況です。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>児童・生徒や保護者、また学校からも、学校司書の継続配置を求められており、学校図書館の充実についても保護者や区民から期待と要望が寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>教員やボランティアと学校司書が連携・協働し、学校図書館を活用した教育活動を推進するとともに、児童・生徒の読書習慣を培う「読書センター」及び児童・生徒の学習活動を支える「学習センター」・「情報センター」としての学校図書館の機能の充実・強化を図るため、今後も引き続き小・中学校全校に学校司書を配置し、研修を拡充させていきます。 また、実行計画に基づき、学校図書館活用実践校等の取組により学校図書館の蔵書を量・質ともに充実させ、学校図書館サポートデスクの支援を継続しながら、学校図書館の活用につなげていきます。</p>			
評価と課題	<p>平成21年度から段階的に学校司書を配置し、平成24年度からは小・中学校全校に配置してきた結果、学校図書館の機能の充実が図られ、それに伴って学校図書館を利用した調べ学習も充実してきています。 一方、成果指標として掲げる児童・生徒への年間貸出冊数は平成27年度まで年々増加の傾向にありましたが、平成28年度、中学校における生徒への年間貸出冊数が初めて前年度より若干減少する結果となりました。目標値の達成を目指し、済美教育センター学校図書館サポートデスクが実施する研修等を通じて学校司書一人ひとりの資質向上を図ったり、学校図書館活用実践校の指定やその実践を全校へ広めたりすることにより、学校図書館を活用した授業や読書活動を一層充実させていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>学校司書と教員、ボランティアとの連携・協働による学校図書館を活用した教育活動の推進、及び学校図書館の機能充実を図るため、これまでの成果を踏まえ引き続き学校司書を小・中学校全校に配置し、学校図書館を活性化していきます。平成29年度は学校図書館活用実践校として10校を指定し、更に学校図書館の整備と充実を進めていきます。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00493)

事務事業名称 小学校の維持管理			款 07	項 02	目 01	事業 002	整理番号 509				
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設整備係			連絡先電話番号 1682	昨年度整理番号 506					
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始										
	平成28年度担当課名 学校整備課					事業評価区分 施設維持管理					
	対象 区立小学校の児童及び施設設備	根拠法令等 (1) 学校教育法第5条									
		(2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条									
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 機械警備等の保守管理を行い、学校施設の安全安心を確保する。	活動指標 指標名(1)	区立小学校の児童数									
	指標説明	機械警備実施校数									
	指標名(2)										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 機械警備や昇降機等が導入されている小学校について、それらの設備の保守管理を実施する。	指標説明										
	成果指標 指標名(1)										
	指標説明										
	指標名(2)										
	指標説明										
区分	単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度			
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標(1)	1	人	18,701	19,063	19,063	19,407	19,407	19,937	100.0	
	活動指標(2)	2	校	36	38	35	37	37	37	100.0	
	成果指標(1)	3									
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	94,119	114,010	111,321	100,119	94,828	96,719	平成28年度 予算執行率(%) 94.7	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7	千円	61,047	84,135	81,708	70,109	65,070	66,811		
	職員数	常勤職員数	8	人	62.37	55.35	55.38	49.35	49.38	46.35	
		再任用職員数	9	人	16.11	13.10	13.11	11.10	11.10	9.10	
		非常勤職員数	10	人	1.86	2.48	11.16	11.16	10.54	5.58	
	人件費	常勤職員分	11	千円	549,480	487,634	484,409	431,664	422,792	396,849	
		再任用職員分	12	千円	65,246	53,055	54,262	45,943	48,729	39,949	
		非常勤職員分	13	千円	5,264	7,018	32,755	32,755	31,314	16,578	
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	714,109	661,717	682,747	610,481	597,663	550,095		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	38,186	34,712	35,815	31,457	30,796	27,592		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21	千円	714,109	661,717	682,747	610,481	597,663	550,095		
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 509

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	機械警備業務委託	37	校	23,767
		機械設備保守点検業務委託（全館空調校）	6	校	8,020
		昇降機保守点検業務委託	10	校	10,137
		施設保全法定点検業務委託	41	校	9,425
		その他（設備の保守委託 ほか）			43,479
	(2) 事業実績	引き続き、機械警備や機器の保守点検を実施し、学校の安全安心の強化に努めました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	学校警備職員の退職による機械警備化が進み、専門事業者への委託が推進されています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保することが重要であると考えます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00500)

事務事業名称		小学校の施設整備			款	07	項	02	目	04	事業	001	整理番号	515	
現担当課名		営繕課			係名			管理計画係			連絡先電話番号	1553	昨年度整理番号	512	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分	投資事業	
事務事業の概要	事業開始														
	平成28年度担当課名	営繕課										事業評価区分	一般		
	対象	区立小学校の児童・生徒、教職員及び学校施設利用者			根拠法令等	(1)	学校教育法第5条								
						(2)	地方自治法第180条の2								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	建設時に当該施設・設備が有していた機能水準は、経年劣化により低下すると共に教育環境の変化により新たに求められる水準との乖離も起こります。低下した機能の回復や、新たに求められる水準まで機能を高めるため改修工事を行うことを目標とする。			活動指標	指標名(1)	改修工事実施校数								
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、大規模改修を中心とした施設・設備の整備を行う。														
				成果指標	指標名(1)	施設改修実施サイクル									
					指標説明	実施校数×15年÷改修までの経過年数の和									
					指標名(2)										
					指標説明										
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度	96.1					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 件(校)	15	17	18	18	15	17	83.3						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3 %	74	80	84	82	68	75	82.9						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	539,439	502,876	477,818	384,134	369,098	605,301	平成28年度予算執行率(%)						
	(内)投資的経費等	6 千円	539,439	502,876	477,818	384,134	369,098	605,301	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	538,741	501,976	477,248	383,234	368,417	604,401							
	職員数	常勤職員数	8 人	20.00	20.00	20.00	20.00	20.38	20.91						
		再任用職員数	9 人	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
		非常勤職員数	10 人	0.61	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	176,200	176,200	174,940	174,940	174,494	179,031						
		再任用職員分	12 千円	0	4,050	4,139	4,139	4,390	4,390						
		非常勤職員分	13 千円	1,726	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	717,365	683,126	656,897	563,213	547,982	788,722							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	11,861,733	10,602,941	9,948,833	9,948,833	11,925,600	10,789,471							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	717,365	683,126	656,897	563,213	547,982	788,722							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	515	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		和田小学校校舎外壁補修工事			
		松庵小学校便所改修工事			43,610
		沓掛小学校受変電設備取替工事			36,817
		天沼小学校普通教室増設工事			36,180
		その他（杉並第九小学校校舎屋上防水改修工事ほか）			164,785
(2) 事業実績	<p>学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、校舎外壁補修工事、便所改修工事、受変電設備取替工事、普通教室増設工事、校舎屋上防水改修工事、照明設備改修工事など、学校諸施設の整備工事を行いました。 今後も学校の改築時期を見極めながら、計画的かつ効果的・効率的な改修を行えるよう調整を図り工事を行います。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>学校建物の老朽化が進む中、計画的に改築を行う必要がありますが、期間と経費がかかることから、改築時までの改修工事の重要性は大きくなっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>学校利用者からは、校舎の傷みが進んでおり、内装の汚れが目立つ等の指摘を受けています。また、施設面では、便所改修や校庭整地、バリアフリー化などが求められています。近隣住民からは、周囲の狭あい道路（二項道路）のセットバック、校庭の土埃対策、工事騒音対策等が求められています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>今後、建物の耐用年数（およそ50年）を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るため、計画的かつ効果的・効率的な改修を行っていくとともに、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。</p>			
評価と課題	<p>施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組み、良好な教育環境の維持・向上に努めました。また、教育的なニーズの変化や改修・改築における費用対効果等を見据えて取り組みます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、現在のローテーションで改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数（およそ50年）を経過する校舎の増加が見込まれており、改築時期を見極めながら計画的かつ効果的・効率的な改修を行う必要があります。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立小中学校老朽化改築計画との調整を図りながら、改修計画を構築する必要があります。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00503)

事務事業名称		小学校空調設備整備				款	07	項	02	目	04	事業	007	整理番号	517	
現担当課名		学校整備課		係名		教育施設整備係		連絡先電話番号		1682		昨年度整理番号		513		
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分		投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成22年度	実行計画事業		目標	05	施策	27	計画事業		02					
	平成28年度担当課名	学校整備課										事業評価区分		一般		
	対象	区立小学校の児童及び施設設備				根拠法令等		(1)		学校教育法第5条						
							(2)		地方自治法第180条の2							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	教育環境改善のために教室に空調設備を整備する。				活動指標		指標名(1)		空調設備設置工事校数						
								指標説明		空調設備整備設計校数						
								指標名(2)		空調設備整備設計校数						
								指標説明								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		区立小学校の教室に空調設備を整備する。				成果指標		指標名(1)		空調設備設置率						
								指標説明		空調設備設置小学校数÷小学校数(H25・26・27理科室、H28・29図工・家庭科室)						
								指標名(2)								
								指標説明								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	校	32	0	0	14	14	2	100.0						
	活動指標(2)	2	校	0	14	14	15	15	0	100.0						
	成果指標(1)	3	%	54	54	54	78	78	81	100.0						
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	99,143	3,996	3,033	85,144	80,981	12,000	平成28年度予算執行率(%)	95.1					
	(内)投資的経費等	6	千円	99,143	3,996	3,033	85,144	80,981	12,000	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	99,143	3,996	3,033	85,144	80,981	12,000							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.11	0.05	0.06	0.08	0.13	0.10						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	969	441	525	700	1,113	856						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	100,112	4,437	3,558	85,844	82,094	12,856							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	30,281	0	0	50,000	79,500	428,000							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	17,633	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	17,633	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	100,112	4,437	3,558	85,844	64,461	12,856							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	517
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		小学校家庭科室及び図工室空調設備整備工事	14	校	80,981
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	小学校家庭科室12校12室及び図工室14校14室に空調設備を設置しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	教育環境を改善し、児童が学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善し理科教育を充実させるため、平成26年度には理科室に空調設備を設置しました。平成28年度は家庭科室と図工室に空調設備を設置しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	保護者やPTA協議会などからは、学習環境改善のため、早急に空調設備整備を実施して欲しいとの要望が出されています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	家庭科室・図工室だけでなく他の特別教室や少人数教室などにも、教育環境改善のための空調設備整備が求められていくと予測されます。			
	評価と課題	普通教室と一部の特別教室に空調設備を設置し、学習環境の改善が図られました。今後は、空調設備未設置の家庭科室・図工室等への整備を進めていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	「杉並区教育ビジョン」推進計画及びPTA協議会の要望に基づき、教育環境の均等化を図るため、空調設備未設置の図工室・家庭科室に空調設備を設置します。			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00666）

事務事業名称 小中一貫校の施設整備（高円寺地区）			款 07	項 02	目 04	事業 009	整理番号 518				
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係			連絡先電話番号 1684	昨年度整理番号 515					
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成28年度担当課名	学校整備課				事業評価区分 一般					
	対象	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)	地方自治法第180条の2 学校施設環境改善交付金交付要綱第3						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	「高円寺地域における新しい学校づくり計画」に基づき、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し、現・高円寺中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を建設する。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	設計進捗率 改築に係る設計進捗率（平成27年度基本設計30%・平成28年度実施設計70%） 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会開催回数						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成25年度～開校 新しい学校づくり懇談会開催 平成27年度 基本設計 平成27年度～28年度 実施設計 平成28年度末～30年度 新校舎建設工事 平成31年4月 新校開校 平成31年度 環境整備工事		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	建設工事の進捗率 建設工事の進捗状況						
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度		
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1	%	0	30	30	100	100	0	100.0	
	活動指標(2)	2	回	8	7	7	8	9	13	112.5	
	成果指標(1)	3	%	0	0	0	0	0	30	0.0	
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	1,555	45,052	40,086	356,231	349,758	454,652	平成28年度 予算執行率(%) 98.2	
	(内) 投資的経費等	6	千円	1,555	45,052	40,086	356,231	349,758	454,652	特記事項	
	(内) 委託費	7	千円	1,555	45,052	40,086	355,634	349,545	454,102		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.20	2.00	1.50	2.00	2.48	2.50	
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,762	17,620	13,121	17,494	21,234	21,405	
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	3,317	62,672	53,207	373,725	370,992	476,057		
	単位当たりコスト (14÷6)÷1)	15	円	0	587,333	437,367	174,940	212,340	0		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	10,280	108,320	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	10,280	108,320		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	3,317	62,672	53,207	373,725	360,712	367,737		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		518	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		建設工事(建築、電気設備、機械設備、昇降機設備)の前払金			
		実施設計委託			48,595
		工事監理業務委託			14,450
		代替運動場措置			379
		その他(設計事務費等)			477
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	平成28年度は、実施設計をまとめるとともに、区議会に建設工事契約議案を提案し議決を得ました。これを受け、新校の建設工事に向けた準備工事等を行いました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成26年3月に高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を設置し、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を伺いながら教育方針や校名、通学路の安全対策など具体的な検討を進めてきました。また、開校に向けた取組や懇談会での意見等について教育委員会ホームページに掲載するとともに近隣住民や近隣の幼稚園、保育施設にニュース誌を配布して周知を図りました。なお、7月に東京都中高層建築物紛争の予防と調整に関する条例に基づく説明会、12月に工事説明会を開催し、校舎の配置や規模、安全性について一部近隣住民から要望や苦情があり、設計変更を実施しました。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設一体型により小中一貫教育の効果を高め、児童・生徒が共に通う学校として配慮すべき点を明確にしながらか検討を進めることを求める意見や、地域の力を生かせる多世代が交わる学校、安全性の高い地域防災の拠点となる学校にしてほしいなどの要望がありました。また、周辺住民等から杉並第四小学校との小中学校分離型に計画を見直すべきとの要望がありましたが、現計画に至る経過、学校での取り組みなどを説明してきました。なお、平成29年5月1日号の広報すぎなみでは、改めて、高円寺地域の小中一貫教育校の整備の特集を掲載し周知を図りました。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	学校関係者や近隣の住民等に、施設一体型小中一貫教育校の計画や設計、改築事業について、十分周知を図り、平成31年4月に開校し児童・生徒の交流活動が盛んになり、教職員や学校支援本部などの学校関係者、地域の方々との連携・交流活動等が活発に行われています。			
	評価と課題	高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を通して、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を踏まえ新校の教育方針や校名、通学路の安全対策などを検討してきました。また、統合する3校の教職員等の意見を踏まえ、実施設計や代替運動場などの諸課題について検討を進めてきました。今後は、平成31年4月の新校開校に向け建設工事の進捗管理を行うとともに、体育やクラブ活動等に係る代替運動場の活用など、工事期間中の高円寺中学校の学校運営に支障が生じないように努めて計画を進めていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	区議会の議決を経た予算及び債務負担行為に基づき、適切に建設工事を実施していきます。			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（ 00696 ）

事務事業名称 杉並第一小学校の改築				款 07	項 02	目 04	事業 010	整理番号 519			
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係		連絡先電話番号 1687		昨年度整理番号 516					
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成27年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業 01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成28年度担当課名	学校整備課					事業評価区分 一般				
	対象	杉並第一小学校の児童、教職員及び学校利用者		根拠法令等	(1)	学校教育法第5条					
					(2)	地方自治法第180条の2					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	「区立施設再編整備計画」に基づき、杉並第一小学校の老朽改築に合わせて、阿佐谷地域区民センターと産業商工会館の集会関連機能との複合化を図り、阿佐谷地域がより魅力のあるまちに発展していくための拠点施設を整備します。			活動指標	指標名（1）	設計進捗率				
					指標説明	改築に係る設計進捗率（基本設計30%・実施設計70%）					
					指標名（2）	改築・複合化検討懇談会開催回数					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）				指標説明						
	平成27年度	改築・複合化検討懇談会設置 基本構想・基本計画策定			成果指標						
	平成28年度	改築・複合化検討懇談会運営 基本設計			指標名（1）						
	平成29年度	実施設計			指標説明						
	平成30年度～32年度	仮設校舎等の建設 新校舎建設工事			指標名（2）						
					指標説明						
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度		
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1	%		0	0	30	30	0	100.0	
	活動指標（2）	2	回		7	7	5	0	0	0.0	
	成果指標（1）	3									
	成果指標（2）	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円		10,462	7,576	170,622	153,713	402,060	平成28年度 予算執行率(%) 90.1	
	(内) 投資的経費等	6	千円		10,462	7,576	170,622	153,713	402,060	特記事項 活動指標2「改築・複合化検討懇談会開催回数」の実績が0だった理由は、杉並第一小学校近隣の総合病院の移転・建替え計画が明らかになったことを受け、現在の病院用地への学校の移転・改築の可能性と阿佐谷地域区民センター及び産業商工会館の整備のあり方について、平成28年度末までに検討することとしたため、その間の懇談会開催を見送ったことによるものです。	
	(内) 委託費	7	千円		9,587	6,930	64,185	47,932	293,855		
	職員数	常勤職員数	8	人		0.00	2.34	2.50	2.66		2.00
		再任用職員数	9	人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円		0	20,468	21,868	22,775		17,124
		再任用職員分	12	千円		0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円		10,462	28,044	192,490	176,488	419,184		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円		0	0	728,933	759,167	0		
	財源	受益者負担分	16	千円		0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円		0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円		0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円		0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円		0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円		10,462	28,044	192,490	176,488	419,184		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 519			
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		杉並第一小学校基本設計等委託			
		地盤・測量調査委託			13,361
		代替運動場設計委託			3,875
		代替運動場用地賃借料			105,600
		その他（基本設計事業者プロポーザル選定委員会委員報酬の支出 ほか ）			243
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>平成28年3月に策定した「杉並第一小学校等複合施設整備に係る基本構想・基本計画」を踏まえ、複合施設の基本設計作業に着手し、配置・平面計画の検討や仮設計画、代替運動場整備など、運用イメージも含めた検討を進めましたが、近隣の総合病院の移転・建替え計画が明らかになったことを受け、事業を一時中断し、現在の病院用地への学校の移転改築の可能性等を改めて検討することとしました。検討の結果、本改築・複合化計画を見直し、病院が移転した後の跡地に学校を移転することとし、平成29年5月に「杉並第一小学校等施設整備等方針」を策定しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>これまで、計画を着実に進めていましたが、昨年8月に、杉並第一小学校近隣の総合病院の移転・建替え計画が明らかになったことを受け、区では、現在の病院用地への学校の移転・改築の可能性と阿佐谷地域区民センター及び産業商工会館の整備のあり方について平成28年度末までに検討することとしました。</p> <p>検討の結果、現在の計画より約1,000㎡広い敷地を確保でき、想定していた屋上校庭と同規模の地上校庭の整備が可能になるなど、将来に向けた教育環境の向上が見込まれることに加え、地域の防災性の向上や土地利用の見直しによる民間と連携した賑わいの創出の可能性などを総合的に考慮し、これまでの計画を見直すこととし、学校の移転・改築時期は平成40年度（予定）に変更となりました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>保護者、学校関係者からは、計画の見直しにより、病院用地への移転・改築時期が平成40年度（予定）となることを受け、既存校舎の物理的な課題や設備の老朽化など、現在の教育上の課題解決を図るため、早期に改築が図れる現在の計画を進めるべきであるという意見・要望が寄せられています。</p> <p>また、病院用地への移転により、学校周辺環境が変化することから、音や砂埃など、近隣対応が必要となるリスクも懸念され、これまでどおり、児童がのびのび活動できなくなるのではないかというご意見もありました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>杉並第一小学校周辺の道路拡幅整備や近隣総合病院の移転・建替え工事などが5年以内に開始される予定です。学校周辺の工事が長期間にわたることが予測されるため、平成33年度を目途に、通学路の設定も含め、児童の通学の安全対策を講じる必要があります。</p> <p>また、改築時期が相当期間延びることにより、既存校舎の改修等を進めていきますが、学校教育活動や児童への影響を最小限に止めるよう配慮しながら、平成29年度から平成32年度の4か年で、計画的に改修等を実施していくこととします。</p>			
評価と課題		<p>杉並第一小学校は、平成40年度（予定）に現在の病院用地に移転・改築するまでの間は既存校舎を使うことになるため、既存校舎の長寿命化対策に加え、時代の変化に相応しい教育環境を確保するための改修計画を策定し、平成29年度から平成32年度を目途に計画的な改修等を進めていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象外		
翌年度予算の方向性の理由・内容		<p>杉並第一小学校等複合施設を整備する計画は見直しとなり、学校の改築時期を大幅に延期することとなったため、本事業は廃止いたします。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00673）

事務事業名称		桃井第二小学校の改築				款	07	項	02	目	04	事業	011	整理番号	520		
現担当課名		学校整備課		係名		教育施設計画係		連絡先電話番号		1698		昨年度整理番号		517			
上位施策No・施策名											27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分		投資事業		
事務事業の概要	事業開始		平成26年度		実行計画事業		目標 05		施策 27		計画事業 01		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成28年度担当課名		学校整備課						事業評価区分		一般						
	対象				桃井第二小学校の児童、教職員及び学校関係者				根拠法令等		(1)		学校教育法第5条				
											(2)		地方自治法第180条の2				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）				「総合計画・実行計画」に基づき、平成27年に築50年を迎えた桃井第二小学校の改築事業を図る。				活動指標		指標名（1）		設計進捗率				
								指標説明				改築に係る設計進捗状況（平成27年度基本設計30％・平成28年度実施設計70％）					
								指標名（2）				建設工事進捗率（平成29～30年度）					
								指標説明									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）				平成26年度 改築検討懇談会設置 平成27年度 改築検討懇談会運営 平成28年度 基本設計 平成29年度～30年度 仮設校舎建設 平成31年度 新校舎建設工事 環境整備工事				成果指標		指標名（1）							
								指標説明									
								指標名（2）									
								指標説明									
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度								
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標（1）		1	%	0	30	30	100	100	0	100.0						
	活動指標（2）		2	%	0	0	0	0	0	20	0.0						
	成果指標（1）		3														
	成果指標（2）		4														
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	234	38,770	35,044	257,108	243,151	1,135,125	平成28年度 予算執行率(%)	94.6					
	（内）投資的経費等		6	千円	234	38,770	35,044	257,108	243,151	1,135,125	特記事項						
	（内）委託費		7	千円	50	38,281	34,597	242,235	229,782	958,279							
	職員数	常勤職員数		8	人	0.20	2.00	2.34	1.50	1.76	1.00						
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数		10	人	0.80	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
	人件費	常勤職員分		11	千円	1,762	17,620	20,468	13,121	15,069	8,562						
		再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分		13	千円	2,264	2,830	2,935	2,935	2,971	2,971						
	総事業費 (5+11+12+13)		14	千円	4,260	59,220	58,447	273,164	261,191	1,146,658							
	単位当たりコスト (14-6)÷1		15	円	0	681,667	780,100	160,560	180,400	0							
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0								
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	4,260	59,220	58,447	273,164	261,191	1,146,658								
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	520
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	事業費（千円）
		実施設計委託			99,976
		耐力度調査委託		5,732	
		仮設校舎賃貸借	3 月	7,619	
		改築関係工事費（事前環境整備、切廻し、代替運動場整備、解体等）		119,584	
		その他（設計事務費、備品搬出等）		10,240	
	(2) 事業実績	改築校舎の実施設計を作成するとともに、条例に基づく建築計画の説明会や保護者向け説明会を開催し、近隣住民及び学校関係者に対し改築計画の理解を深めました。 また、仮設体育館・仮設校舎の建設、代替プールとして使用する旧若杉小学校の改修等を行い、改築工事期間中の教育環境の確保を図るとともに、新校舎建設工事に向けて各種準備工事、既存体育館・プールの解体工事を実施しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	計画発表当初は、改築対象となった経緯や仮設校舎の建設及び代替運動場の確保の不安など、計画概要に対する質問を多く受けたところですが、改築検討懇談会における意見交換、懇談会ニュースの発行、説明会の開催などにより、改築事業について関係者に周知を図り、理解を深めてきました。 これらの取組により、現在は、新校舎の施設内容や建設工事の進め方などについて、保護者や近隣住民の理解、協力が得られています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	保護者からは仮設校舎・新校舎の整備内容を確認する意見、近隣住民からは工事の進め方や住環境に対する配慮を求める意見など、事業の内容、進め方を確認する意見が寄せられるようになりました。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	平成31年3月に新校舎が竣工する予定です。 平成31年4月から仮設校舎及び既存北校舎の解体を始めます。平成31年度に実施する校庭・外構等の環境整備工事の完了をもって本改築事業は終了となります。			
	評価と課題	各種準備工事、仮設校舎建設工事、既存体育館・プール解体工事などの実施に当たっては、学校の行事予定や近隣住民からの要望を汲み取りつつ、工程・工法の工夫に努めることで、児童の教育環境、近隣住民の生活環境に可能な限りの配慮を行いました。 今後とも、保護者や近隣住民等に対する情報提供や要望把握を適宜適切に行いつつ、新校舎の建設工事を着実に進めていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	平成30年度は、新校舎建設工事の2か年目に当たるため、建設工事費に係る債務負担行為に基づき、適切な予算を編成し、執行していきます。			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00507)

事務事業名称 中学校の維持管理			款 07	項 03	目 01	事業 002	整理番号 522			
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設整備係		連絡先電話番号 1682		昨年度整理番号 519				
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始									
	平成28年度担当課名	学校整備課				事業評価区分 施設維持管理				
	対象	区立中学校の生徒及び施設設備		根拠法令等 (1) (2)	学校教育法第5条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	機械警備等の保守管理を行い、学校施設の安全安心を確保する。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	区立中学校の生徒数 機械警備実施校数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	機械警備や昇降機等が導入されている中学校について、それらの設備の保守管理を実施する。運動場の拡張及び敷地形状の改良のため、天沼中学校の隣地を取得する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明						
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画 実績		平成28年度 計画 実績 (目標値)		平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	6,465	6,547	6,547	6,497	6,497	6,451	100.0	
	活動指標(2)	2 校	20	21	22	22	22	22	100.0	
	成果指標(1)	3								
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	35,621	40,096	38,523	378,820	376,151	40,275	平成28年度 予算執行率(%) 99.3	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	35,597	40,070	38,499	41,446	38,924	40,249		
	職員数	常勤職員数	8 人	16.37	17.35	17.38	16.35	16.38	19.35	
		再任用職員数	9 人	15.11	14.10	12.10	14.10	13.10	10.10	
		非常勤職員数	10 人	1.24	0.62	2.48	2.48	2.48	3.10	
	人件費	常勤職員分	11 千円	144,220	152,854	152,023	143,013	140,246	165,675	
		再任用職員分	12 千円	61,196	57,105	50,082	58,360	57,509	44,339	
		非常勤職員分	13 千円	3,509	1,755	7,279	7,279	7,368	9,210	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	244,546	251,810	247,907	587,472	581,274	259,499		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	37,826	38,462	37,866	90,422	89,468	40,226		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	244,546	251,810	247,907	587,472	581,274	259,499		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	522	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		土地購入		1	校	337,204
		機械警備業務委託		22	校	15,055
		機械設備保守点検業務委託（全館空調校）		4	校	5,574
		昇降機保守点検業務委託		9	校	8,311
	その他（設備の保守委託 ほか）					10,007
(2) 事業実績	引き続き、機械設備や機器の保守点検を実施し、学校の安全安心の強化に努めました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
	評価と課題	学校警備職員の退職による機械警備化が進み、専門事業者への委託が推進されています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保することが重要であると考えます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
	今後の進め方					

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00513)

事務事業名称		中学校の施設整備				款	07	項	03	目	03	事業	001	整理番号	527	
現担当課名		営繕課		係名		管理計画係		連絡先電話番号		1553		昨年度整理番号		524		
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分		投資事業		
事務事業の概要	事業開始															
	平成28年度担当課名		営繕課		事業評価区分		一般									
	対象		区立中学校の生徒、教職員及び学校施設利用者		根拠法令等		(1) 学校教育法第5条 (2) 地方自治法第180条の2									
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		建設時に当該施設・設備が有していた機能水準は、経年劣化により低下すると共に教育環境の変化により新たに求められる水準との乖離も起こります。低下した機能の回復や、新たに求められる水準まで機能を高めるため改修工事を行うことを目標とする。		活動指標		改修工事実施校数									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、大規模改修を中心とした施設・設備の整備を行う。		成果指標		施設改修実施サイクル 実施校数×15年÷改修までの経過年数の和									
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)		1	件(校)	11	8	9	13	13	7	100.0					
	活動指標(2)		2													
	成果指標(1)		3	%	79	76	86	88	88	88	100.0					
	成果指標(2)		4													
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	293,450	198,700	189,032	550,121	533,957	303,306	平成28年度 予算執行率(%)	97.1				
	(内) 投資的経費等		6	千円	293,450	198,700	189,032	550,121	533,957	303,306	特記事項					
	(内) 委託費		7	千円	293,450	198,700	189,032	550,121	533,957	303,306						
	職員数	常勤職員数		8	人	20.00	20.00	19.90	20.00	20.70	19.96					
		再任用職員数		9	人	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00					
		非常勤職員数		10	人	0.61	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分		11	千円	176,200	176,200	174,065	174,940	177,233	170,898					
		再任用職員分		12	千円	0	4,050	4,139	4,139	4,390	4,390					
		非常勤職員分		13	千円	1,726	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	471,376	378,950	367,236	729,200	715,580	478,594						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	16,175,091	22,531,250	19,800,444	13,775,308	13,971,000	25,041,143						
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	471,376	378,950	367,236	729,200	715,580	478,594							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	527	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単 位	事業費（千円）
		神明中学校給食室改修その他工事			125,053
		阿佐ヶ谷中学校校舎外壁補修その他工事			102,600
		荻窪中学校便所改修工事			53,460
		宮前中学校照明設備改修工事			44,203
		その他（天沼中学校受変電設備取替工事ほか）			208,641
(2) 事業実績	<p>学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、給食室改修工事、校舎外壁補修工事、便所改修工事など、学校諸施設の整備工事を行いました。 今後も学校の改築時期を見極めながら、効果的な改修を行えるよう調整を図り、工事を行います。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>学校建物の老朽化が進む中、改築を計画的に行う必要がありますが、期間と経費がかかることから、改築時までの改修工事の重要性は大きくなっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>学校利用者からは、校舎の傷みが進んでおり、内装の汚れが目立つ等の指摘を受けています。また、施設面では、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等を求められています。近隣住民からは、周囲の狭い道路（二項道路）のセットバック、校庭の土埃対策とともに、工事中の安全や公害対策等が求められています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>今後、建物の耐用年数（およそ50年）を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や環境の維持・向上を図るためには、計画的に改修を行っていき、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。</p>			
評価と課題	<p>施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組み、良好な教育環境の維持に努めました。また、教育的ニーズの変化や改修・改築における費用対効果等を見据えて取り組みます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、現在のローテーションで改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数（およそ50年）を経過する校舎の増加が見込まれており、改築時期を見極めながら効率的な改修を行う必要があります。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立小中学校老朽化改築計画との調整を図りながら、改修計画を構築する必要があります。</p>				

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00668)

事務事業名称		中学校空調設備整備				款	07	項	03	目	03	事業	005	整理番号	528	
現担当課名		学校整備課		係名		教育施設整備係		連絡先電話番号		1682		昨年度整理番号		526		
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分		投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成22年度	実行計画事業		目標	05	施策	27	計画事業		02					
	平成28年度担当課名	学校整備課										事業評価区分		一般		
	対象	区立中学校の生徒及び施設設備				根拠法令等		(1)		学校教育法第5条						
							(2)		地方自治法第180条の2							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	教育環境改善のために教室に空調設備を整備する。				活動指標		指標名(1)		空調設備設置工事校数						
								指標説明		空調設備整備設計校数						
								指標名(2)		空調設備整備設計校数						
								指標説明								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		区立中学校の教室に空調設備を整備する。				成果指標		指標名(1)		空調設備設置率(%)						
								指標説明		空調設備設置中学校数 ÷ 中学校数 H26・27理科室、H28・29家庭科室						
								指標名(2)		空調設備整備設計校数						
								指標説明								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	校	0	18	18	9	9	1	100.0						
	活動指標(2)	2	校	18	9	9	8	8	0	100.0						
	成果指標(1)	3	%	22	36	36	54	54	56	100.0						
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,238	110,664	92,791	63,644	56,808	6,000	平成28年度予算執行率(%)	89.3					
	(内)投資的経費等	6	千円	5,238	110,664	92,791	63,644	56,808	6,000	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	5,238	110,664	92,791	63,644	56,808	6,000							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.05	0.10	0.12	0.07	0.08	0.05						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	441	881	1,050	612	685	428						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	5,679	111,545	93,841	64,256	57,493	6,428							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	0	48,944	58,333	68,000	76,111	428,000							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	13,826	0	12,703	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	13,826	0	12,703	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	5,679	111,545	80,015	64,256	44,790	6,428							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	528
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		中学校理科室空調設備整備工事	9	校	56,808
	その他（ ）				
(2) 事業実績	中学校家庭科室9校18室に空調設備を設置しました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	教育環境を改善し、生徒が学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善し理科教育を充実させるため、平成26年度には理科室空調設備の設計を行いました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	保護者やPTA協議会などからは、学習環境改善のため、早急に空調設備整備を実施して欲しいとの要望が出されています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	家庭科室だけでなく他の特別教室や少人数教室などにも、教育環境改善のための空調設備整備が求められていくと予測されます。			
	評価と課題	普通教室と一部の特別教室に空調設備を設置し、学習環境の改善が図られました。今後は、空調設備未設置の家庭科室等への整備を進めていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	「杉並区教育ビジョン」推進計画及びPTA協議会の要望に基づき、教育環境の均等化を図るため、空調設備未設置の図工室・家庭科室に空調設備を設置します。			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00669）

事務事業名称 小中一貫校の施設整備（高円寺地区）			款 07	項 03	目 03	事業 007	整理番号 529					
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係		連絡先電話番号 1684		昨年度整理番号 528						
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業						
事業開始 平成26年度		実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01		主要事業（区政経営報告書掲載事業）								
平成28年度担当課名 学校整備課						事業評価区分 一般						
対象		杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)		地方自治法第180条の2 学校施設環境改善交付金交付要綱第3						
事務事業の概要	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）		設計進捗率 改築に係る設計進捗率（平成27年度基本設計30％・平成28年度実施設計70％） 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会開催回数							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明		建設工事の進捗率 建設工事の進捗状況							
	平成25年度～開校 新しい学校づくり懇談会開催 平成27年度 基本設計 平成27年度～28年度 実施設計 平成28年度末～30年度 新校舎建設工事 平成31年4月 新校開校 平成31年度 環境整備工事											
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度			
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標（1）	1	%	0	30	30	100	100	0	100.0		
	活動指標（2）	2	回	8	7	7	8	9	13	112.5		
	成果指標（1）	3	%	0	0	0	30	0	0	0.0		
	成果指標（2）	4										
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	1,555	45,052	40,086	356,330	349,778	454,652	平成28年度 予算執行率(%)	98.2	
	（内）投資的経費等	6	千円	1,555	45,052	40,086	0	0	0	特記事項		
	（内）委託費	7	千円	1,555	45,052	40,086	355,733	349,453	454,102			
	職員数	常勤職員数	8	人	0.20	2.00	1.50	2.00	2.47	2.50		
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,762	17,620	13,121	17,494	21,148	21,405		
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	3,317	62,672	53,207	373,824	370,926	476,057			
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	0	587,333	437,367	3,738,240	3,709,260	0			
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	10,280	108,320		
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	10,280	108,320			
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	3,317	62,672	53,207	373,824	360,646	367,737			
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		529	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		建設工事(建築、電気設備、機械設備、昇降機設備)の前払金			
		実施設計委託			48,595
		工事監理業務委託			14,450
		代替運動場措置			379
		その他(設計事務費等)			497
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	平成28年度は、実施設計をまとめるとともに、区議会に建設工事契約議案を提案し議決をえました。これをうけ、新校の建設工事に向けた準備工事等を行いました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成26年3月に高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を設置し、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を伺いながら教育方針や校名、通学路の安全対策など具体的な検討を進めてきました。また、開校に向けた取組みや懇談会での意見等について教育委員会ホームページに掲載するとともに近隣住民や近隣の幼稚園、保育施設にニュース誌を配布して周知を図りました。なお、7月に東京都中高層建築物紛争の予防と調整に関する条例に基づく説明会、12月に工事説明会を開催し、校舎の配置や規模、安全性について一部近隣住民から要望や苦情があり、設計変更を実施しました。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設一体型により小中一貫教育の効果を高め、児童・生徒が共に通う学校として配慮すべき点を明確にしながらか検討を進めることを求める意見や、地域の力を生かせる多世代が交わる学校、安全性の高い地域防災の拠点となる学校にしてほしいなどの要望がありました。また、周辺住民等から杉並第四小学校との小中学校分離型に計画を見直すべきとの要望がありましたが、現計画に至る経過、学校での取り組みなどを説明してきました。なお、平成29年5月1日号の広報すぎなみでは、改めて、高円寺地域の小中一貫教育校の整備の特集を掲載し周知を図りました。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	学校関係者や近隣の住民等に、施設一体型小中一貫教育校の計画や設計、改築事業について、十分周知を図り、平成31年4月に開校し児童・生徒の交流活動が盛んになり、教職員や学校支援本部などの学校関係者、地域の方々との連携・交流活動等が活発に行われています。			
	評価と課題	高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を通して、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を踏まえ新校の教育方針や校名、通学路の安全対策などを検討してきました。また、統合する3校の教職員等の意見を踏まえ、実施設計や代替運動場などの諸課題について検討を進めてきました。今後は、平成31年4月の新校開校に向け建設工事の進捗管理を行うとともに、体育やクラブ活動等に係る代替運動場の活用など、工事期間中の高円寺中学校の学校運営に支障が生じないように努めて計画を進めていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	区議会の議決を経た予算及び債務負担行為に基づき、適切に建設工事を実施していきます。			



# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		615	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		土地購入	7,405	m <sup>2</sup>	3,073,222
		移転補償			970,797
		その他（ ）			
事業環境の変化と方向性	(2) 事業実績	富士見丘小学校を移転し、富士見丘中学校と一体的な整備を図るため、平成28年12月15日付けで、土地売買契約を締結し富士見丘中学校隣地の企業用地（7,405.45m <sup>2</sup> ）を取得しました。			
		<p>事業開始当初から現在までの変化</p> <p>事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）</p> <p>今後（3～5年）の予測と方向性</p>			
評価と課題		<p>富士見丘小学校の周辺環境では、東京都市計画道路幹線街路放射第5号線が、平成30年3月本格共用が開始されます。また、富士見丘中学校の隣地の都市計画高井戸公園の整備が進められ、平成32年度一部開園の予定となっています。</p> <p>前・所有者による旧社宅の解体工事にあたり、解体工事施工業者から近隣住民に「旧富士見ヶ丘社宅解体工事の説明資料」を配布し周知をしましたが、特段、近隣住民等からの苦情はありませんでした。</p> <p>富士見丘中学校の隣地の都市計画高井戸公園の整備が順次進められます。また、富士見丘地域の新しい学校づくりでは、学校関係者、地域の方々などから構成される懇談会を平成29年度末を目途に立ち上げて検討を進めるとともに、基本構想・基本計画策定支援のためコンサルタントを活用し、平成30年度までに作成します。平成30年度から32年度では、基本設計、実施設計をまとめ、平成33年度から建設工事に着手します。</p> <p>平成26年3月の「富士見丘小学校教育環境懇談会まとめ」及び、平成27年2月の「富士見丘地域における教育環境懇談会まとめ」をにおいて、小学校移転の条件となっていた企業用地の取得が完了したことから、富士見丘小学校と富士見丘中学校の一体的な整備に向けて、校舎配置や規模、隣接する都市計画高井戸公園の利活用など、多面的な検討を進めていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象外		
		<p>取得した企業用地については工作物等解体終了後、平成29年10月末日までに更地で引き渡されます。なお、改築事業が始まるまでの間、敷地の一部については自転車集積場として暫定的に活用することとし、その他の部分については、富士見丘中学校の第二校庭としての活用を視野に検討していきます。</p> <p>また、富士見丘地域の新しい学校づくりに向け、学校関係者、地域の方々などから構成される懇談会を平成29年度に立ち上げて30年度以降引き続き検討を進めていきます。</p>			

# 平成29年度 杉並区施策評価表 I

資料1-2

(00015)

施策	13	高齢者の社会参加の支援
目標	04	健康長寿と支えあいのまち
施策担当課	高齢者施策課	関係課
施策目標	○高齢者が同じ趣味や関心、地域での活動などを通して、さまざまな区民とつながり、支えあいながらいきいきと生活しています。 ○高齢者が自らの知識や経験を活かし、就労や地域貢献活動などにより社会参加しています。	

活動指標		成果指標	
指標名(1)	いきいきクラブ加入者数	指標名(1)	65歳以上の高齢者でいきいきを感じている人の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(2)	高齢者の就職成立件数	指標名(2)	地域活動・ボランティア活動・働いている高齢者の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による
指標名(3)	長寿応援ポイント活動登録グループ件数	指標名(3)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名(4)		指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績			
活動指標	活動指標(1)	1 人	5,612	5,800	5,557	5,600	5,500		
	活動指標(2)	2 件	23	25	24	25	20		
	活動指標(3)	3 件	1,327	1,470	1,411	1,570	1,451		
	活動指標(4)	4							
成果指標	成果指標(1)	5 %	78.6	87	84.0	87	79.0	95	平成33年度
	成果指標(2)	6 %	37.6	42.0	40.2	42.0	37.8	50	平成33年度
	成果指標(3)	7							
	成果指標(4)	8							
	成果指標(5)	9							
	成果指標(6)	10							
施策コスト	事業費	11 千円	786,571	839,400	810,534	926,317	900,078	特記事項 事業費の棒は長寿応援ポイント事業対象者の増による。	
	(内) 投資的経費等	12 千円	4,679	3,564	3,123	133,778	125,902		
	(内) 委託費	13 千円	470,803	501,934	486,949	594,782	580,741		
	職員数	14 人	10.99	10.26	10.41	9.72	10.68		
	再任用職員数	15 人	0.74	1.00	0.33	0.00	0.00		
	非常勤職員数	16 人	0.90	1.00	1.00	2.00	1.90		
	人件費(14+15+16)	17 千円	102,365	97,271	95,357	90,893	97,087		
	総事業費(11+17)	18 千円	888,936	936,671	905,891	1,017,210	997,165		
	国・都等からの補助金等	19 千円	57,801	58,832	58,085	59,737	59,872		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	20 %			1.9	8.6	10.1		
人件費比率(17÷18)	21 %	11.5	10.4	10.5	8.9	9.7			

<p>施策を取り巻く環境 (社会情勢、国、都の動き、 区民意見等)</p>	<p>平成27年に団塊の世代の方々すべて65歳をむかえられています。杉並区では全人口に占める65歳以上の高齢者の割合が、平成24年度に20%を超え、今後10年間は約21%前後で推移すると見込まれます。</p> <p>高齢者雇用安定法により、高齢者の就労促進として雇用確保措置が進められています。平成28年版高齢社会白書によると、労働力人口に占める高齢者の比率は上昇し、60歳以上の方のうち就労を希望する方の割合は約7割となっています。</p> <p>平成28年度区の高齢者実態調査によると、65歳以上の高齢者の方が現在やっている、または今後やってみたい活動については、「健康づくり」などほとんどの項目で過年度に比べ多くなっています。</p> <p>一方で、社会奉仕活動やいきがい活動の場となる「いきいきクラブ」の加入者数は、新規加入者より退会者が多く、やや減少傾向にあります。</p>
---	--

<p>施策の総合評価 (計画事業の取組実績と 評価結果)</p>	<p>高齢者の働く意欲に応えるために定期的な求人情報の提供、就業・起業及びボランティア活動等、様々な働き方を紹介する講座や講演会、個別相談などのほか、企業の協力による「合同就職面接会」を行い、就職希望者を採用に結びつけることができました。</p> <p>自主的な社会参加を進める長寿応援ポイント事業の登録活動数は平成28年度末現在1,451件となり、前年比2.8%の増加となりました。寄付されたポイントを原資とする長寿応援ファンドを活用して、介護予防や地域防災活動、被災地支援の活動に助成を行い、地域の支えあいを進めました。</p> <p>いきいきクラブ数や会員数はやや減少傾向にありますが、高齢者相互の助けあいを進めるため、杉並区いきいきクラブ連合会は、平成26年度から会員増強運動に力を入れています。クラブ単位でみると会員数が増加しているクラブや、会長が世代交代し新しい意欲を持って活動に取り組んでいるクラブもあります。</p> <p>このように高齢者が元気に活躍できるよう、社会参加を支援する様々な取組を行ってきましたが、いきがいを感ずる高齢者の割合、ボランティア活動や働いている高齢者の割合は昨年度に比べ低下しているため、一層の支援を行っていきます。</p>
--	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="391 810 718 862"> <p>今後の施策の方向性</p> </td> <td data-bbox="718 810 1548 862"> <p>現状維持</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="391 862 718 1272"> <p>今後の進め方</p> </td> <td data-bbox="718 862 1548 1272"> <p>今後、いきがいを感ずる高齢者の割合、ボランティア活動や働いている高齢者の割合が上昇していくよう、高齢期を地域の中で健康に暮らし、趣味・関心・活動などを通じたつながりにより、互いに支えあいながら活動できる環境づくりに取り組んでいきます。</p> <p>まず、ボランティア活動支援や就職を希望する方に対しては、区内法人会や企業と緊密に連携し、ひとりでも多く就職できるよう取組を進めます。特に、平成29年度からは元気な高齢者の就労意欲に応えるため、保育や介護などの福祉施設への就業に向けた講座や就業体験などに取り組んでいきます。</p> <p>また、高齢者がボランティアや健康づくりなどの活動に参加することにより自らが元気になるとともに、お互いが支えあう地域づくりを進めるため、長寿応援ポイント事業の利用実態を調査し、より適切な高齢者支援となるよう見直し・検討を行います。</p> <p>年々減少傾向にあるいきいきクラブの活動を活性化するために、ボランティアや相互の支えあい活動(友愛活動)を含めた活動内容の周知を図るとともに、地域の自主的な助けあいを進めるためにクラブの円滑な活動や立上げを支援します。</p> </td> </tr> </table>	<p>今後の施策の方向性</p>	<p>現状維持</p>	<p>今後の進め方</p>	<p>今後、いきがいを感ずる高齢者の割合、ボランティア活動や働いている高齢者の割合が上昇していくよう、高齢期を地域の中で健康に暮らし、趣味・関心・活動などを通じたつながりにより、互いに支えあいながら活動できる環境づくりに取り組んでいきます。</p> <p>まず、ボランティア活動支援や就職を希望する方に対しては、区内法人会や企業と緊密に連携し、ひとりでも多く就職できるよう取組を進めます。特に、平成29年度からは元気な高齢者の就労意欲に応えるため、保育や介護などの福祉施設への就業に向けた講座や就業体験などに取り組んでいきます。</p> <p>また、高齢者がボランティアや健康づくりなどの活動に参加することにより自らが元気になるとともに、お互いが支えあう地域づくりを進めるため、長寿応援ポイント事業の利用実態を調査し、より適切な高齢者支援となるよう見直し・検討を行います。</p> <p>年々減少傾向にあるいきいきクラブの活動を活性化するために、ボランティアや相互の支えあい活動(友愛活動)を含めた活動内容の周知を図るとともに、地域の自主的な助けあいを進めるためにクラブの円滑な活動や立上げを支援します。</p>
<p>今後の施策の方向性</p>	<p>現状維持</p>				
<p>今後の進め方</p>	<p>今後、いきがいを感ずる高齢者の割合、ボランティア活動や働いている高齢者の割合が上昇していくよう、高齢期を地域の中で健康に暮らし、趣味・関心・活動などを通じたつながりにより、互いに支えあいながら活動できる環境づくりに取り組んでいきます。</p> <p>まず、ボランティア活動支援や就職を希望する方に対しては、区内法人会や企業と緊密に連携し、ひとりでも多く就職できるよう取組を進めます。特に、平成29年度からは元気な高齢者の就労意欲に応えるため、保育や介護などの福祉施設への就業に向けた講座や就業体験などに取り組んでいきます。</p> <p>また、高齢者がボランティアや健康づくりなどの活動に参加することにより自らが元気になるとともに、お互いが支えあう地域づくりを進めるため、長寿応援ポイント事業の利用実態を調査し、より適切な高齢者支援となるよう見直し・検討を行います。</p> <p>年々減少傾向にあるいきいきクラブの活動を活性化するために、ボランティアや相互の支えあい活動(友愛活動)を含めた活動内容の周知を図るとともに、地域の自主的な助けあいを進めるためにクラブの円滑な活動や立上げを支援します。</p>				

# 平成29年度 杉並区施策評価表Ⅱ（施策を構成する事務事業）

【施策 13】【施策名称 高齢者の社会参加の支援】

金額の単位は千円

( 00015 )

整理番号	事務事業名称	位置付		平成28年度 事業費	人件費 (再任用・ 非常勤 含)	総事業費	施策から見た 事業の方向性
		実行計画 事業	主要事業				
1	150 まちの湯ふれあい入浴			44,273	2,569	46,842	現状維持
2	151 風呂っと杉並			3,413	1,712	5,125	現状維持
3	152 いきいきクラブの支援			23,175	8,562	31,737	現状維持
4	153 シルバー人材センター支援			163,281	2,569	165,850	現状維持
5	154 高齢者いきがい活動支援			6,457	9,418	15,875	推進(拡充)
6	170 ゆうゆう館の運営			262,013	19,672	281,685	現状維持
7	171 三療サービス			12,109	3,530	15,639	現状維持
8	172 敬老事業			35,072	15,412	50,484	現状維持
9	173 長寿応援ポイント事業			91,643	11,987	103,630	現状維持
10	235 高齢者活動支援センターの維持管理			70,932	3,853	74,785	現状維持
11	236 ゆうゆう館の維持管理			65,885	12,067	77,952	現状維持
12	246 ゆうゆう下高井戸館の整備			33,492	2,654	36,146	その他
13	248 ゆうゆう馬橋館の整備			88,333	3,082	91,415	その他
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				900,078	97,087	997,165	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	「ゆうゆう馬橋館の整備」と「ゆうゆう下高井戸館の整備」については、平成29年度に予定している新施設への移転に向けた時限的な事業であるため、「その他」としています。
-------------------------	---



# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00141)

事務事業名称			まちの湯ふれあい入浴				款	04	項	01	目	02	事業	010	整理番号	150	
現担当課名			高齢者施策課				係名			いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1165	昨年度整理番号	146	
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和49年度															
	平成28年度担当課名	高齢者施策課											事業評価区分	一般			
	対象	入浴事業は65歳以上の区民と付添者、健康事業は60歳以上の区民				根拠法令等	(1)		老人福祉法第4条第1項及び第13条第1項								
							(2)		杉並区ふれあい入浴実施要綱 杉並区まちの湯健康事業実施要綱								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	ふれあい入浴を利用し、公衆浴場が、高齢者同士の親睦を深め、社会参加や交流を広げることができる憩いの場となるようにする。 まちの湯健康事業に高齢者が参加することで、リフレッシュはもとより、健康増進が図られ、介護予防につながるようになる。				活動指標	指標名(1)		ふれあい入浴年間延べ利用者数								
						指標説明		まちの湯健康事業年間延べ参加者数									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	ふれあい入浴：毎週水曜日(一部火曜日)に各浴場の決められた時間帯(2時間)を100円で開放する。 まちの湯健康事業：月1~2回、手ぬぐい体操などの健康事業を行う。実施後、参加者は100円で入浴できる。長寿応援ポイント対象事業。				成果指標	指標名(1)		ふれあい入浴1回当たりの利用者数									
						指標説明		年間延べ利用者数÷実施回数									
						指標名(2)		まちの湯健康事業1回当たりの参加者数									
						指標説明		年間延べ参加者数÷実施回数									
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)	1	人	78,628	84,000	77,008	80,000	74,845	78,000	93.6							
	活動指標(2)	2	人	4,819	5,400	4,866	5,400	4,503	5,000	83.4							
	成果指標(1)	3	人	64.3	70	64.4	70	65.1	70	93.0							
	成果指標(2)	4	人	17.7	18	17.7	18	16.2	17	90.0							
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	46,137	49,293	45,618	47,608	44,273	44,459	平成28年度 予算執行率(%) 93.0							
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7	千円	46,083	49,186	45,568	47,501	44,185	44,390								
	職員数	常勤職員数	8	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30							
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円	2,643	2,643	2,624	2,624	2,569	2,569							
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費	14	千円	48,780	51,936	48,242	50,232	46,842	47,028								
	単位当たりコスト	15	円	620	618	626	628	626	603								
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円	3,400	4,380	4,380	4,380	0	4,380							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計		20	千円	3,400	4,380	4,380	4,380	0	4,380								
差引：一般財源		21	千円	45,380	47,556	43,862	45,852	46,842	42,648								
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	150	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		ふれあい入浴の実施		1,150	回	37,260
		まちの湯健康事業の実施		277	回	6,925
	その他（ポスター・チラシ作成費ほか）				88	
(2) 事業実績	<p>ふれあい入浴：28年度は7月から実施浴場23か所のうち1か所休業となり、延べ利用者は2163人減少しましたが、1回あたりの利用者数は約1人近くの増となりました。          まちの湯健康事業：実施浴場数は1か所減少しましたが、実施回数はあまり変わりませんでした（平成27年度 274件）。</p>					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>区内の公衆浴場数は、昭和49年度111か所 平成23年度30か所 平成28年度23か所(うち1か所休業中)と減少しています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>ふれあい入浴・・・「自宅にお風呂があっても、広いお風呂は気持ちがいいので利用している。」          「一人暮らしの高齢者同士が銭湯で、互いに健康の確認をしあい、世間話をするのが楽しみになっている。」          「通院日と重なり、指定の曜日・時間帯に行くことができない。」といった声が寄せられています。          まちの湯健康事業・・・「とても良いので回数を増やしてほしい。」          「参加者が増え、体操に必要なスペースを脱衣所では確保しにくい。」といった声が寄せられています。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>区内の公衆浴場数はさらに減少する可能性があります。          ふれあい入浴は、実施浴場数が減少し、利用が集中して混雑が予測されます。          まちの湯健康事業は、浴場改修等により、会場が確保できる浴場も増えると予測されます。</p>				
	評価と課題	<p>ふれあい入浴は、浴場減少による問題点を検証していきます。          まちの湯健康事業は、参加者がリピーターとなり、複数か所に参加している講座があります。リピーター以外の高齢者が参加できるよう事業の周知の工夫をしていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>ふれあい入浴は実施浴場数の減少による影響等、各浴場の実態を把握しながら安全確保の検討・改善を進めていきます。          まちの湯健康事業は、長寿応援ポイント事業対象であり、多くの方が参加できるようにわかりやすく周知します。</p>					

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00142)

事務事業名称		風呂っと杉並			款	04	項	01	目	02	事業	011	整理番号	151	
現担当課名		高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	147		
上位施策No・施策名										13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成13年度													
	平成28年度担当課名	高齢者施策課											事業評価区分	一般	
	対象	60歳以上の区民 (平成26年度より、対象年齢を「50歳以上」から「60歳以上」に変更)			根拠法令等	(1)		杉並区風呂っと杉並事業補助金交付要綱							
						(2)		杉並区風呂っと杉並事業補助金補助基準							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	公衆浴場を、健康増進や生きがいを目的とした60歳以上の高齢者の自主グループに開放することで、高齢者の活動・交流を推進していく。			活動指標	指標名(1)		風呂っと杉並事業を実施する浴場数							
					指標名(2)										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	区内の公衆浴場を60歳以上4名以上のグループに有料(利用料は浴場によって異なる)で開放し、自主的な活動や交流の拠点とする風呂っと杉並事業(杉並浴場組合自主事業)に要する経費について、運営費を助成する。			成果指標	指標名(1)		1所当たりの1か月の利用者数								
					指標名(2)		利用者数÷浴場数÷12か月								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 所	9	9	9	10	9	10	90.0						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3 人	17.0	17	20.0	17	20.0	19	117.6						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	3,143	3,545	3,478	3,545	3,413	3,545	平成28年度 予算執行率(%)	96.3					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,762	1,762	1,749	1,749	1,712	1,712						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	4,905	5,307	5,227	5,294	5,125	5,257							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	545,000	589,667	580,778	529,400	569,444	525,700							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	1,571	1,772	1,760	1,772	0	1,772						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	1,571	1,772	1,760	1,772	0	1,772							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	3,334	3,535	3,467	3,522	5,125	3,485							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	151
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		風呂っと杉並運営費補助	9	所	3,413
		その他( )			
	(2) 事業実績	28年度は、9浴場で風呂っと杉並事業を実施し、全回数は348回でした。各浴場で毎月平均3～4回の利用があり、内容は健康体操・手芸・マージャン等です。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	区内の公衆浴場数：昭和49年度111か所 平成24年度28か所 平成28年度23か所 事業を実施浴場数：平成13年度9か所 平成24年度9か所 平成28年度9か所			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	利用者からは、「近所なので集まりやすく、気軽に利用できるのがいい。」など評価を頂いています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	実施浴場への登録団体の固定化から新規団体の利用は受け入れが難しくなっています。			
	評価と課題	高齢者が主体的に活動するために、身近な地域で集まれる場所が必要です。利用者団体が固定しており、新規の団体を受け入れらるよう検討します。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	事業の目的を踏まえ、浴場開放の実態を浴場組合と協議し事業のあり方を見直します。			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00143)

事務事業名称			いきいきクラブの支援				款	04	項	01	目	02	事業	012	整理番号	152	
現担当課名			高齢者施策課				係名			いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1165	昨年度整理番号	148	
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援			予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和33年度	実行計画事業			目標	04	施策	13	計画事業		01					
	平成28年度担当課名	高齢者施策課										事業評価区分	一般				
	対象	杉並区いきいきクラブ 杉並区いきいきクラブ連合会				根拠法令等	(1)		老人福祉法第4条、第13条第2項								
							(2)		杉並区いきいきクラブ助成要綱								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	クラブ会員一人ひとりが社会貢献活動やいきがい活動を積極的に行い、高齢期をいきいき元気に生活できるようにする。 いきいきクラブ及びいきいきクラブ連合会の活動の活性化を推進し、会員増加を支援する。				活動指標	指標名(1)		いきいきクラブ加入者数								
						指標説明											
						指標名(2)											
						指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	いきいきクラブが実施する社会奉仕活動・友愛活動・健康増進活動・生きがい活動等のクラブ活動に対して、各クラブの会員数に応じて、助成する。 いきいきクラブ連合会及び地区連合会が実施する福祉大会・スポーツ大会・健康づくり教室等の事業に対して、助成する。				成果指標	指標名(1)		いきいきクラブ加入率									
						指標説明		いきいきクラブ加入者数÷60歳以上の人口(当該年度4月1日現在)									
						指標名(2)		1か月の社会奉仕活動回数(クラブ当たり)									
						指標説明		社会奉仕活動回数÷全クラブ数÷12月									
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)	1 人	5,612	5,800	5,557	5,600	5,500	5,500	98.2								
	活動指標(2)	2															
	成果指標(1)	3 %	3.9	4.1	3.9	3.9	3.8	3.9	97.4								
	成果指標(2)	4 回	13.6	14	12.0	12	11.3	12	94.2								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	24,060	26,164	23,610	24,491	23,175	24,385	平成28年度 予算執行率(%)	94.6							
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	(内)委託費	7 千円	11	12	12	20	20	20									
	職員数	常勤職員数	8 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.50								
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00								
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00								
	人件費	常勤職員分	11 千円	8,810	8,810	8,747	8,747	8,562	12,843								
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0								
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0								
	総事業費	14 千円	32,870	34,974	32,357	33,238	31,737	37,228									
	単位当たりコスト	15 円	5,857	6,030	5,823	5,935	5,770	6,769									
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0								
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0								
		都からの補助金等	18 千円	2,722	2,822	2,530	2,669	2,524	2,635								
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計		20 千円	2,722	2,822	2,530	2,669	2,524	2,635									
差引:一般財源		21 千円	30,148	32,152	29,827	30,569	29,213	34,593									
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	152	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		いきいきクラブ助成（いきいきクラブ連合会・各いきいきクラブ）		68	団体	22,650
		福祉大会・都市交流等事業		1	団体	500
		その他（旅費の支給、連絡用郵券ほか）				25
	(2) 事業実績	<p>いきいきクラブ（67クラブ）が、社会奉仕活動や友愛活動（9,123回）、健康増進活動（8,154回）、いきがい活動（8,907回）を実施しました。</p> <p>いきいきクラブ連合会及び地区連合会（10地区）で、福祉大会7回（連合会1回、6地区6回）、スポーツ大会6回（1連合会6回）、健康づくり教室8回（1連合会1回、7地区7回）、東吾妻町とのグラウンドゴルフ大会による交流懇談会等を実施しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和33年度、3クラブで開始し、平成5年度に会員数のピーク（12,071人）、平成10年度にクラブ数のピーク（100クラブ）となりました。</li> <li>平成21年度：81クラブ、会員数6,778人</li> <li>国及び都の要綱改正に伴い、1クラブあたりの会員数を「50人以上」から「30人以上」に改正</li> <li>平成26年度：70クラブ、会員数5,612人      平成27年度：68クラブ、会員数5,557人</li> <li>平成28年度：67クラブ、会員数5,500人</li> </ul> <p>高齢者人口は年々増加していますが、新規加入者より退会者が多くクラブ数及び会員数は年々減少しています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>会員からは、「生きがい活動を楽しんでいる」という声や、「健康づくり教室で低栄養について学んだことにより、食の大切さをあらためて認識した」という意見などがあります。一方、会員の高齢化がすすみ、「活動が一部の会員だけになってしまい残念だ」という話も聞かれます。</p> <p>また、高齢の役員からは、「区やいきいきクラブ連合会への提出書類の作成が困難になってきているが、後継者がなく困っている」といった声もあります。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>会員の高齢化に伴い活動が縮小されるクラブや、後継者不足により廃止となるクラブがあると予測できます。平成29年4月現在66クラブとなり、平均年齢は79.6歳です。</p> <p>今後も新規加入者が伸びないことにより、会員数は減少傾向が続き、高齢化すると思われます。</p>				
評価と課題		<p>いきいきクラブは、社会奉仕活動や健康増進活動、いきがい活動を通じて、高齢者の社会参加に一定の成果をあげてきました。しかし、高齢者にとって老人クラブ以外にも多種多様な選択肢が広がっている現在、老人クラブ加入者の減少は全国的な傾向となっています。</p> <p>会員の減少を食い止めるには、単に会員同士のいきがい活動だけでなく、ボランティアや友愛活動など地域の支えあいにつながる活動や、会員以外も参加できる行事を企画し、いきいきクラブの魅力を地域の高齢者に発信していきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
		<p>高齢者が、地域の中で様々な活動を通して生きがいを感じ、地域とのつながりや高齢者同士の支えあいを実感することで充実した日々を送り、地域包括ケアを実現するために、地域の互助組織であるいきいきクラブの存在は必要不可欠です。</p> <p>会員の減少や高齢化は進んでいますが、長年続いている活動を助け合いながら継続しているクラブや、仲間づくりのため新たな活動を始めるクラブを今後も支援していきます。</p> <p>また、後継者が見つからないまま役員が高齢化しているクラブの中で、大きな負担となっている会計処理や区への提出物の作成について適切な指導や助言を行なうことにより、クラブが廃止とならないよう、支援していきます。</p>				



# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	153	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		シルバー人材センター運営助成			158,231
		シルバー人材センター運用資金貸付			5,000
		その他（負担金の支出ほか）			50
	(2) 事業実績	<p>シルバー人材センターの事業実績は、実契約件数7,985件、事業収入899,103千円です。実契約件数の内訳は、有料自転車駐車場管理等の公共事業134件、民間企業の事業761件、独自事業35件、一般家庭の事業7,055件です。</p> <p>地域貢献活動としては、「シルバー孫の手」事業で115件のボランティア活動を行なったほか、地域住民との交流を目的とした「ひざこぞうトーク」、青梅街道清掃ボランティア、公開講座の開催も継続して実施しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>区の総人口に占める60歳以上の区民の割合                      昭和54年：8.6%                      平成28年4月：26.0%</p> <p>シルバー人材センターの会員数                      昭和54年度末：1,280人              平成24年度末：3,084人              平成27年度末：2,780人                      平成28年度末：2,772人</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>自転車駐車場やゆうゆう館等の施設利用者を対象に行なった「公共施設アンケート調査」、清掃、植木剪定、襖・障子の張り替え等の利用料の請求書に同封した「お客様満足度調査」とも良好な評価の回答を多く得ています。</p> <p>一方、公共施設での職員の対応・接客に対する苦情や、一般家庭での施行内容に関する苦情も若干寄せられることがあります。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>会員数については、定年後の継続雇用の拡大に伴う新規入会者の伸び悩みや、加齢や病気を理由とする退会者の増加傾向が続くと思われませんが、会員募集チラシの配布を始めとした会員増強活動を継続していくことにより、増加が見込めます。</p> <p>平成28年度は会員減も一段落し、今後は住宅地域であり、子育て世代も増加しているという地域性から、家庭・育児サービス分野の需要は高まるものと思われま。</p>			
	評価と課題	<p>登録会員数は、平成24年度を境に減少傾向が続いていましたが、会員募集チラシを区内全域に配布したことにより入会者が増加し、ほぼ昨年度同様の会員数を維持することができました。</p> <p>今後は、増加が見込まれる家庭・育児サービスの受注拡大のために、女性会員の増強や研修の実施を支援していきます。</p> <p>「シルバー孫の手」事業については、開始から5年めとなりましたが、実績は伸び悩んでおり、PR方法や事業の流れ全体を見直し、利用しやすいボランティア活動となるよう支援していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>社会参加に意欲がある高齢者が、地域社会との連携のなかで就業や社会奉仕等の活動を行なっていくうえでシルバー人材センターの果たす役割は大きく、区は、引き続きシルバー人材センターを支援していきます。</p> <p>平成28年度に実施された杉並区外部評価委員会による評価結果を踏まえ、法人の自立性強化のため、経営改善、超過勤務の削減、運用資金貸付金の見直しなど、着実な事業運営のための体制構築に向けて、区とシルバー人材センターが一体となって取り組んでいきます。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00145)

事務事業名称		高齢者いきがい活動支援				款	04	項	01	目	02	事業	014	整理番号	154	
現担当課名		高齢者施策課				係名	いきがい活動支援係				連絡先電話番号	1164	昨年度整理番号	150		
上位施策No・施策名											13	高齢者の社会参加の支援			予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	昭和58年度	実行計画事業			目標	04	施策	13	計画事業			01			
	平成28年度担当課名	高齢者施策課										事業評価区分	一般			
	対象	概ね60歳以上の区民 ただし、高齢者の就業・社会参加支援は、概ね55歳以上の在住・在勤者				根拠法令等	(1)	老人福祉法第4条								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者が生きがいを高める活動・学習・就業の場を利用して、地域の中で生涯現役で健康に暮らしていけるようにする。				活動指標	指標名(1)	支援対象の地域活動団体数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	地域のNPO法人・団体等が行う高齢者のいきがい、健康づくり、パソコン教室等の講座の開催を支援する。 地域で役に立ちたい高齢者を社会貢献スタッフとして登録、講師活動を実施する。 杉の樹大学をNPO法人に委託し運営する。 高齢者の就業・社会参加支援をNPO法人に委託し実施する。				指標名(2)	高齢者の就職成立件数									
			成果指標	指標名(1)	杉並区後援の地域貢献事業の開催回数											
			指標説明	指標名(2)	社会貢献スタッフ年間延べ派遣人数											
			指標説明													
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	団体	12	12	11	12	10	8	83.3						
	活動指標(2)	2	回	23	25	24	25	20	25	80.0						
	成果指標(1)	3	回	159	160	153	160	130	120	81.3						
	成果指標(2)	4	人	1,294	1,300	1,373	1,300	1,145	1,200	88.1						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	6,202	6,543	6,332	6,493	6,457	12,051	平成28年度予算執行率(%)	99.4					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	6,172	6,187	6,182	6,435	6,427	11,994							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.80	0.70	0.70	0.80	1.10	1.10						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	7,048	6,167	6,123	6,998	9,418	9,418						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	294	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	13,250	12,710	12,455	13,785	15,875	21,469							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,104,167	1,059,167	1,132,273	1,148,750	1,587,500	2,683,625							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	3,100	3,231	3,126	3,258	0	3,242						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	3,100	3,231	3,126	3,258	0	3,242							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	10,150	9,479	9,329	10,527	15,875	18,227							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	154
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	杉の樹大学運営委託	1	所	3,600
		高齢者の就業・社会参加支援委託	1	所	2,818
	(2) 事業実績	その他（研修会講師謝礼ほか） 39			
		<p>杉の樹大学事業は、本科年間32講座（受講生40名）、専科4講座各3回（受講生94名）、公開講座1回（70名）を実施しました。</p> <p>高齢者の就業・社会参加支援事業は、個別相談22回（延べ58名）実施、職業能力アップ講座等31回（延べ431名参加）開催しました。</p> <p>社会貢献スタッフの講師活動（主にてめぐい体操、健康エアロビクス）は、ゆうゆう館の自主グループ・協働事業、まちの湯健康事業等で継続実施しています。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>区の高齢化率（65歳以上の総人口に占める割合）は、昭和50年7.4%、平成元年11.4%、平成20年18.7%、平成24年19.8%、平成29年4月21.0%と増加しています。</p> <p>杉の樹大学事業は、昭和59年に開始しました。平成15年からNPO法人に事業委託し、平成24年度からは公募型プロポーザル方式により事業者を選定の上、運営を委託しています。28年度から新しい事業者が選定されています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>杉の樹大学は、「新しい仲間と出会えた、充実した一年を過ごすことができた、学びから知り得た知識を地域のボランティア活動に活かしていきたい」など、受講生の評価は好評で、「もう1年通いたい」という要望もあります。</p> <p>社会貢献スタッフの講師活動（主にてめぐい体操、健康エアロビクス）は、需要も高く、利用者にも好評です。</p> <p>高齢者の就業・社会参加支援事業で開催している各種講座の中では、パソコン講座など就業に直接役立つ講座に、特に人気が集まっています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>高齢化率の進展に伴い、生涯現役で充実した人生を過ごしたいと考える高齢者も増加するものと予測できます。</p> <p>高齢者が、就業や学習、いきがい活動を通じて地域の中でいきいきと過ごすための事業への期待は、さらに高まっていく見込みです。</p>			
	評価と課題	<p>杉の樹大学は、1年間の継続した学びの中で、自己啓発と地域での仲間づくりを目的としています。</p> <p>今後も時代の変化とともに、講座内容等企画を工夫していきます。</p> <p>高齢者の就業・社会参加支援事業においては、平成26年度から年1回実施していた「合同就職面接会」を年2回実施しました。就職先の決定した方も複数あり、参加者からは好評でした。より多数の高齢者が参加し就職できるよう、事業の周知方法についての検討と、参加企業数を増やせるよう、企業の協力を求めています。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>杉の樹大学における、学びを通じての自己啓発と地域での仲間づくりにより、高齢者が地域社会に積極的に関わっていきけるような企画・講座づくりを実施していきます。</p> <p>高齢者の就業・社会参加支援事業では、元気高齢者の就労意欲に応えるため、平成29年度から、福祉施設等での就労体験を行なう「元気高齢者地域活躍推進事業」を実施します。この事業による活動就労後、実際に福祉施設等への就職ができる人材の育成を目指して研修や実習を行ないます。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00162)

事務事業名称			ゆうゆう館の運営				款	04	項	01	目	02	事業	033	整理番号	170			
現担当課名			高齢者施策課		係名		施設担当係		連絡先電話番号		1153		昨年度整理番号		167				
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分		既定事業				
事務事業の概要	事業開始		昭和38年度																
	平成28年度担当課名		高齢者施策課								事業評価区分		一般						
	対象		60歳以上の区民及びゆうゆう館協働事業参加者、NPO法人等の協働事業実施団体		根拠法令等		(1)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例		(2)		老人福祉法						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		NPO法人等との協働により、効率的かつ魅力あるゆうゆう館の管理運営を行う。		活動指標		指標名(1)		協働事業実施回数		指標名(2)		協働事業年間参加者数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		ゆうゆう館の受付業務及び館清掃等をNPO法人等に委託する。効率的かつ魅力あるゆうゆう館として運営していくため、評価委員会を開催し、ゆうゆう館協働事業実施団体に対する評価を行う。新たにゆうゆう館の協働事業実施団体を選定するため、選定委員会を開催する。ゆうゆう館の円滑な運営のため、運営団体と意見交換を行う。		成果指標		指標名(1)		ゆうゆう館部屋稼働率		指標名(2)		協働事業参加者の満足度		(大いに満足+満足)÷参加者数 利用者アンケート結果より				
区分		単位		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成28年度							
				実績		計画		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)					
指標	活動指標(1)		1 回		9,798		9,900		10,345		10,000		10,921		10,500		109.2		
	活動指標(2)		2 人		110,653		111,000		114,924		115,000		118,381		117,000		102.9		
	成果指標(1)		3 %		44.0		45		48.0		48		50.0		50		104.2		
	成果指標(2)		4 %		90.5		90		95.4		90		95.4		90		106.0		
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		246,859		265,862		259,110		263,318		262,013		263,203		平成28年度予算執行率(%) 99.5		
	(内)投資的経費等		6 千円		4,679		3,564		3,123		4,212		4,077		3,664		特記事項		
	(内)委託費		7 千円		241,762		259,867		254,662		257,897		257,086		258,546				
	職員数	常勤職員数		8 人		2.06		2.04		2.04		1.80		2.02		1.68			
		再任用職員数		9 人		0.52		0.70		0.33		0.00		0.00		0.00			
		非常勤職員数		10 人		0.70		0.80		0.60		0.80		0.80		0.80			
	人件費	常勤職員分		11 千円		18,149		17,972		17,844		15,745		17,295		14,384			
		再任用職員分		12 千円		2,106		2,835		1,366		0		0		0			
		非常勤職員分		13 千円		1,981		2,264		1,761		2,348		2,377		2,377			
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		269,095		288,933		280,081		281,411		281,685		279,964				
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円		26,987		28,825		26,772		27,720		25,420		26,314				
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0			
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0			
		都からの補助金等		18 千円		2,638		2,532		2,532		2,698		2,698		2,291			
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0					
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		2,638		2,532		2,532		2,698		2,698		2,291					
差引:一般財源(14-20)		21 千円		266,457		286,401		277,549		278,713		278,987		277,673					
受益者負担比率(16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	170
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		ゆうゆう館受付等業務委託（うち協働事業館32館）	32	館	257,085
		協働事業館支援事業（備品・消耗品購入）	4	館	4,746
		ゆうゆう館評価委員会及び選定委員会開催	5	回	182
		その他（ ）			
(2) 事業実績	<p>32館で年間10,921回の協働事業が行われ、延べ11万8千人を超える参加者がありました。ゆうゆう館を利用した人数も延べ450,252人に達し、ともに年々利用者が増加しています。実施団体の評価は、平成23年度にゆうゆう館協働事業を開始した4団体を対象に、評価委員会を2回開催して実施しました。また、平成28年度末で協定期間が満了となる2館を対象に、協働事業実施団体を募集しました。3団体から応募があり、選定委員会を3回開催して2団体を選定しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>受付等業務委託は、平成18年度の時点では16館（うち協働事業館9館）で行っていました。平成23年度から区内32箇所あるゆうゆう館の全てが受付等業務委託館及び協働事業実施館となりました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>館の管理運営は順調に行われており、受託団体の接客姿勢についてもアンケートの意見や、直接、利用者からも満足との評価を得ています。また、利用者のニーズに合わせた内容を取り入れるなど協働事業を幅広く行うことにより、利用者数は増加傾向にあります。その一方で、従来からゆうゆう館を利用していただいていた高齢者団体等からは、希望する日時での自主活動がやりづらくなったなどの苦情も寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>高齢人口の増加に伴い、高齢者の活動の場としてのゆうゆう館の必要性は今後も大きくなると考えられます。杉並区立施設再編整備計画では、ゆうゆう館は多世代が利用できる地域コミュニティ施設への転用・再編整備を進めることとなっています。再編後もゆうゆう館の機能と役割は継承することとなっているので、これまでと同様に高齢者が身近な地域で気軽に集えるように、高齢者のニーズを把握した事業や各館の特性を活かした事業の企画を進めていくことが求められます。継続的で安定したゆうゆう館の運営ができるように、区は運営団体の評価及び選定を通して、指導や支援を行う必要があります。</p>			
評価と課題	<p>現在、ゆうゆう館全館において協働事業の実施と協働事業者による管理運営を行っており、高齢者の社会参加や交流、いきがい活動の拠点となっています。このことが果たす役割の大きさを認識しつつ、地域に根差した施設として高齢者の満足度がさらに上がるよう運営を行うことが課題です。また、杉並区立施設再編整備計画では、平成31年度から地域コミュニティ施設への転用・再編整備を進めていく計画となっており、平成29年度はゆうゆう馬橋館、下高井戸館が移転し、モデル的な取組を行いながら検討を進めることとなります。継承するゆうゆう館の機能と役割について十分に検討を行い、将来的な施設運営の方法を具体化します。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成29年度はゆうゆう馬橋館、下高井戸館が移転し、地域コミュニティ施設のモデルとなる取組を進めます。平成30年度は、この取組で得られた結果について、杉並区立施設再編整備計画第二次実施プランに、身近な地域で高齢者が集まることができるよう計画内容に反映していきます。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00163)

事務事業名称 三療サービス			款 04	項 01	目 02	事業 034	整理番号 171			
現担当課名 高齢者施策課		係名 いきがい活動支援係			連絡先電話番号 1165	昨年度整理番号 168				
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和48年度								
	平成28年度担当課名	高齢者施策課			事業評価区分	一般				
	対象	60歳以上の区民		根拠法令等 (1) (2)	杉並区三療サービス事業実施要綱					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	マッサージを受け、高齢者の身体機能の維持・介護予防の促進を図り、いきいきと暮らせるようにする。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	三療サービス利用者数 ゆうゆう館でのサービス利用人数					
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	ゆうゆう館で行うマッサージ・はり施術を「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。高齢者活動支援センターでは、指定管理者が同協議会に再委託して実施する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	利用率 利用者数÷(当該年度4月1日付け)60歳以上の区民						
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画 実績		平成28年度 計画(目標値) 実績		平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	5,039	5,760	5,133	5,760	5,284	5,760	91.7	
	活動指標(2)	2								
	成果指標(1)	3 %	3.5	4.0	3.6	4.0	3.7	4.0	92.5	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	12,372	12,736	12,274	12,735	12,109	12,869	平成28年度 予算執行率(%) 95.1	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	11,919	12,368	11,907	12,367	11,824	12,496		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.32	0.30	0.30	0.10	0.10	0.10	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.25	0.80	0.90	0.90	
	人件費	常勤職員分	11 千円	2,819	2,643	2,624	875	856	856	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	734	2,348	2,674	2,674	
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	15,191	15,379	15,632	15,958	15,639	16,399		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	3,015	2,670	3,045	2,770	2,960	2,847		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	6,185	6,380	6,368	6,366	0	6,433	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	6,185	6,380	6,368	6,366	0	6,433		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	9,006	8,999	9,264	9,592	15,639	9,966		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	171
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		三療サービス(ゆうゆう館)事業委託	5,284	人	10,488
		その他(消耗品購入ほか)			1,621
	(2) 事業実績	<p>ゆうゆう館32館を利用し、月40回、年間480回実施しています。平成28年度の実績5,284人中、女性が3,844人(72.7%)です。はりとマッサージは希望制ですが、4,706人(89.1%)がマッサージを希望しています。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>ゆうゆう館 平成24年度4,931人 平成25年度5,036人 平成26年度5,039人 平成27年度5,133人 平成28年度5,284とゆるやかに増加しています。 高齢者活動支援センター 平成23年度平成24年度3,127人 平成25年度3,453人 平成26年度3,531人 平成27年度3,560人 平成28年度3,518人と同水準の利用者を確保しています。 高齢者活動支援センターは平成24年5月以降は指定管理者制度に移行し、事業予算は指定管理料から支出することとなりました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>現在、ゆうゆう館では原則として施術は1月当たり1回しか受けられないので、利用者からは利用できる回数を増やしてほしいとの要望が毎年あります。 また、施術者の接遇に関して、苦情が年間数件寄せられます。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>利用者も施術者も高齢化が進んでいるため、体調などの健康管理面に注視する必要があります。区の施設整備再編計画によるゆうゆう館の地域コミュニティー施設への転換により三療サービスのあり方を検討する可能性があります。 利用者の固定化の傾向がみられ、より多くの方に利用していただくためホームページやゆうゆう館での周知に一層の取組が必要になります。 施術者による格差・意識の違いもあるため技術力の向上を支援するとともに、接遇力の向上も支援する必要があります。</p>			
	評価と課題	<p>利用者には好評な施術ですが、より多くの方に利用していただくため、ホームページやゆうゆう館での周知に一層取り組んでいきます。 施術者による格差・意識の違いもあるため、技術力の向上を支援するとともに、接遇力の向上も支援していきます。 三療サービスによる健康保持・向上の関心を高め、介護予防につなげていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・対象の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>ホームページの掲載や、館ごとのPRを行います。また、三療サービスの利用者自ら健康保持・向上を意識し関心を高めるよう、介護予防事業の普及啓発を実施して高齢者の健康増進を目指します。施術者の技術向上、接遇改善のため、協議会が実施する技術・接客向上の研修会を支援します。衛生面の改善を課題として検討しているため、消毒液の正しい使い方の徹底を行うと共に、タオルケット、布団等の使用方法について、29年度、30年度に見直しを進めていきます。また、布団等の使用方法変更に伴う、洗濯料の軽減も検討します。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00164)

事務事業名称		敬老事業			款	04	項	01	目	02	事業	035	整理番号	172	
現担当課名		高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1165		昨年度整理番号	169		
上位施策No・施策名										13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和25年度													
	平成28年度担当課名	高齢者施策課											事業評価区分	一般	
	対象	75歳以上の高齢者 75歳、81歳、100歳以上の高齢者			根拠法令等	(1)		老人福祉法第4条、5条、第13条第1項							
						(2)		杉並区敬老事業実施要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	敬老事業が対象者の日常生活に、新たな価値や意味を見出すきっかけとなり、健やかに充実した後期高齢期を過ごし、意欲や活力が高められるようにする。			活動指標	指標名(1)		敬老会参加者数							
					指標名(2)		祝い品贈呈者数(75歳、81歳、100歳以上)								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催する。 対象者に敬老祝い品(75歳、81歳)、長寿祝い品(100歳以上)を贈呈(戸別配送)する。 在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつには区長が訪問し、直接贈呈を行う。			成果指標	指標名(1)		敬老会来場率								
					指標名(2)		来場者÷対象者数								
					指標説明		祝い品交換率								
					指標説明		交換者÷対象者数								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 人	3,857	5,000	4,153	5,000	5,171	5,500	103.4						
	活動指標(2)	2 人	8,212	8,900	8,688	9,290	9,205	6,540	99.1						
	成果指標(1)	3 %	6.6	8.4	7.0	8.5	8.5	8.7	100.0						
	成果指標(2)	4 %	98.6	100	95.6	100	98.8	100	98.8						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	32,009	33,207	32,041	36,486	35,072	35,469	平成28年度 予算執行率(%)	96.1					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	10,037	8,465	8,234	10,150	10,127	11,715							
	職員数	常勤職員数	8 人	1.90	1.80	1.85	1.80	1.80	2.10						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	16,739	15,858	16,182	15,745	15,412	17,980						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	294	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	48,748	49,065	48,223	52,525	50,484	53,449							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	12,639	9,813	11,612	10,505	9,763	9,718							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	6,353	5,904	5,434	6,783	0	7,581						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	6,353	5,904	5,434	6,783	0	7,581							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	42,395	43,161	42,789	45,742	50,484	45,868							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	172	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		敬老会開催		5,171	人	13,195
		敬老祝い品贈呈		9,205	人	21,396
		その他（ ）				481
	(2) 事業実績	75歳以上の高齢者を対象に、第67回杉並区敬老会を9月6、7日の2日間計6回開催しました。内容は式典と演奏（日本フィル交響楽団弦楽合奏団）を行いました。敬老祝い品は75歳81歳の方にカタログギフトによる祝い品を贈り、100歳以上の方にカタログギフト、肌着セット、音声拡聴器から1点選択していただく形で祝い品を贈りました。さらに、在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつを区長が訪問し長寿を祝い、花束の贈呈をしました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	対象である75歳以上人口はこの事業が開始された昭和27年の約3,000人と現在の60,624人（平成28年6月15日現在）を比較すると約20倍になり、あらためて超高齢化社会を裏付けるものとなっています。また高齢者の嗜好も時代とともに変化し、多様化してきております。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	杉並区敬老会は、かつて演歌歌手のショーを中心に開催してきましたが、ここ数年、参加者からはクラシック、ポップス、演芸など多様なジャンルへの要望も寄せられるようになったため、幅広い嗜好に対応しております。敬老祝い品のカタログギフトは、個人の嗜好に合わせて商品を選択できるので、対象者になるのを楽しみにしているという声が多くあります。少数ですが、祝い品は必要ないという意見や区内共通商品券、現金、寄付を希望する声もあります。				
	今後（3～5年）の予測と方向性	75歳以上の対象者は年々増加し、平成28年度から29年度にかけて対象者の1,500人増が見込まれ、安全のために29年度の敬老会は今までの公演回数6回から2回増の全8回で行う予定です。75歳以上の対象者は今後も増加が見込まれます。敬老祝い品の対象年齢が平成29年度より、75・81歳から81・90歳に変更されたため対象者の減少が予想されます。				
	評価と課題	平成28年度の敬老会は、日本フィル交響楽団弦楽合奏団の演奏で初めてクラシック音楽を実施しましたが、大変好評で再演を望む声が多くありました。参加者の一名（90歳代）が転倒し、負傷されたこともあり、参加者増を踏まえ、運営における安全面を強化します。将来的には、増え続ける対象者を考慮し、対象を75歳を迎えられた方などに限定するなど、今後の敬老会の在り方について検討します。敬老祝い品（75歳・81歳）の内容については、交換率もよく好評です。区民の方からの意見を反映し、カタログ選定の際には、寄付商品が掲載されているものを指定しています。100歳以上の祝い品に関しては、毎年お祝いしてもらえることに、感謝の言葉が多く寄せられています。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し				
翌年度予算の方向性の理由・内容	敬老会は対象者増を見込み、平成29年度より前年から2回増の全8回公演で行います。設営、開催準備や案内、誘導等の運営については、平成29年度から企画とともに業務委託します。平成30年度もこれにより平成28年度まで依頼していた他課からの応援要員を削減できると見込みます。高齢者人口のさらなる増加を見越し、敬老事業全体の見直しも視野に入れながら、従来通りの事業形態ではない選択肢についても検討します。					

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00165)

事務事業名称 長寿応援ポイント事業			款 04	項 01	目 02	事業 036	整理番号 173			
現担当課名 高齢者施策課		係名 長寿応援ポイント担当係			連絡先電話番号 1166	昨年度整理番号 170				
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成21年度	実行計画事業	目標 04	施策 13	計画事業 02	主要事業(区政経営報告書掲載事業)			
	平成28年度担当課名	高齢者施策課					事業評価区分	一般		
	対象	地域貢献活動、健康増進活動等は60歳以上の区民 いきがい活動は、75歳以上の区民			根拠法令等 (1) (2)	杉並区長寿応援ポイント事業実施要綱 杉並区長寿応援ポイント事業運営懇談会開催要綱				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者の外出を促し、高齢者自身の健康増進やいきがいの向上を図る。さらにその活動が社会参加につながり、地域包括ケアの取組の中で、お互いや地域の人々の「支えあい」が進展することを目指す。			活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	活動登録グループ件数(累計)  ポイント交換者数				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	区が認定した「地域貢献活動」等へ高齢者が参加したときポイントを配布する。ためたポイントは、地域貢献活動団体の助成を行うため設置した長寿応援ファンドへの寄付および区内共通商品券の交換に充てる。 円滑な事業運営を図るため、長寿応援ポイント事業運営懇談会を設置する。 業務は民間事業者への委託により行う。			成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	65歳以上の高齢者でいきがいを感している人の割合 区民意向調査による				
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画 実績		平成28年度 計画(目標値) 実績		平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 件	1,327	1,470	1,411	1,570	1,451	1,670	92.4	
	活動指標(2)	2 人	6,977	7,500	7,206	8,500	7,644	9,500	89.9	
	成果指標(1)	3 %	78.6	87	84.0	87	79.0	87	90.8	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	78,940	84,475	84,352	91,860	91,643	97,313	平成28年度 予算執行率(%) 99.8	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 高齢者のいきがい活動を促進するため、より適切な指標となるよう、成果指標の見直しを行い、これまでの「週2回以上外出している高齢者の割合」から、「65歳以上の高齢者でいきがいを感している人の割合」に変更した。	
	(内)委託費	7 千円	34,843	35,043	35,043	35,830	35,819	41,652		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.90	1.40	1.50	1.50	1.40		1.40
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	16,739	12,334	13,121	13,121	11,987		11,987
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	95,679	96,809	97,473	104,981	103,630	109,300		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	72,102	65,856	69,081	66,867	71,420	65,449		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	19,337	19,316	19,460	19,316	0		19,400
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	19,337	19,316	19,460	19,316	0	19,400		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	76,342	77,493	78,013	85,665	103,630	89,900		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		173	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		長寿応援ポイント事業業務委託			
		長寿応援ポイント事業運営懇談会等	21	回	582
		普及啓発(事業紹介冊子、ポイントシール印刷ほか)			2,160
		その他(商品券の購入ほか)			53,081
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>平成28年度末の登録活動数は1,451件で、平成27年度末の1,411件から2.8%の増加となりました。平成28年度は事業紹介冊子を作成し、各ゆうゆう館や保健センターに配布することで、様々な活動の紹介と事業の周知を行いました。また、区役所1階ロビーで事業紹介展示を行いました。長寿応援ファンドを活用し、高齢者の健康づくりや、誰もが住みやすいまちづくりを進める活動として、8活動(平成27年度は7活動)に助成を行いました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>事業開始年度である平成21年10月の区内65歳以上人口は103,024人でしたが、平成29年4月現在では118,001人まで増加しています。 平成28年度区民意向調査によれば、65歳以上でボランティア活動を行っている高齢者は9.8%で、前年度を下回りましたが、趣味のサークルやクラブ活動、社会貢献活動を行っている高齢者は、68.5%となっていて前年度を上回っています。生活にいきがいを感じている高齢者は79.0%です。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>ポイントが配られることで「参加意欲が向上する」「新しい方も参加するようになった」「友人が増えた」など、大変好評です。ポイント交換で得た商品券は日々の買い物や健康・娯楽など様々な目的で活用されています。また、寄付をしていただいた方からは「社会の役に立てることがうれしい」との声があります。 長寿応援ファンド助成を受けた活動団体からは、「事業参加者同士のつながりができ、地域の中で支えあふ関係が構築できた」「交流の幅を広げることで、若者が新しい知識を身につけ、自分を見つける良い機会となった」等の実施結果が報告されました。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>杉並区の高齢化率は21%程度で推移していくことが予測されています。 高齢者が地域に出て自らの知識や経験を活かし、地域貢献活動などを行いながら、地域社会の様々な世代の人達と支えあい、いきいきと生活していく社会を目指して事業を進めていきます。</p>			
評価と課題		<p>長寿応援ポイント事業登録活動数は、平成21年度の事業開始以来増加を続けており、多様な地域活動が行われています。 今後は、利用実態を調査し、ポイント交換の仕組みやPR方法の見直しを中心に、より分かりやすく、効果的な事業となるよう、検討していきます。 長寿応援ファンドを活用し、地域に貢献する公益的な活動や、いろいろな世代を支援する活動に対して助成することで、お互いが支えあふ社会の実現を目指します。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>地域包括ケアシステムの構築に向け、高齢者がボランティアや健康づくりなどの活動に参加することにより、自らが元気になるとともに、お互いが支えあふ地域づくりを進めます。 長寿応援ポイント事業参加者の実態調査の結果を踏まえ、ポイント交換の仕組み等について、検討・見直しを行います。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00225)

事務事業名称 高齢者活動支援センターの維持管理			款 04	項 01	目 06	事業 012	整理番号 235			
現担当課名 高齢者施策課		係名 施設担当係		連絡先電話番号 1153		昨年度整理番号 233				
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援						予算事業区分 既定事業				
事業開始 昭和58年度										
平成28年度担当課名 高齢者施策課		事業評価区分 一般								
対象		60歳以上の区民及び高齢者活動団体、60歳以上の区民で構成される10名以上の団体(ゲートボール場)		根拠法令等 (1) 老人福祉法第4条、第5条の3、第15条、第20条の7 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例						
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標 指標名(1) 高齢者活動支援センター登録団体数 指標説明 指標名(2) 団体利用回数							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		成果指標 指標名(1) 高齢者活動支援センター利用率 指標説明 講座室等利用回数÷利用可能枠数 指標名(2) ゲートボール場利用率 指標説明 利用回数÷利用可能枠数							
	高齢者の活動拠点として、高齢者活動支援センターの運営を指定管理者により行う。60歳以上の区民の福祉増進を図るため、各種相談や健康増進、教養の向上及びレクリエーション活動の支援を目的に設置した高齢者活動支援センターの施設維持管理を行う。高齢者の健康増進及び高齢者団体の活動支援のため、高齢者ゲートボール場を管理・運営する。									
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成27年度 実績	平成28年度 計画 (目標値)	平成28年度 実績	平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 団体	75	80	77	80	77	80	96.3	
	活動指標(2)	2 回	2,206	2,200	2,403	2,500	2,507	2,600	100.3	
	成果指標(1)	3 %	71.9	75.0	79.8	80.0	82.1	85.0	102.6	
	成果指標(2)	4 %	47.0	50.0	52.5	60.0	56.4	60.0	94.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	70,762	71,361	71,357	70,967	70,932	72,259	平成28年度 予算執行率(%) 100.0	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	70,384	71,225	71,224	70,781	70,779	72,157		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.43	0.41	0.41	0.40	0.45	0.32	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	3,788	3,612	3,586	3,499	3,853	2,740	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	74,550	74,973	74,943	74,466	74,785	74,999		
	単位当たりコスト (14÷6÷1)	15 円	994,000	937,163	973,286	930,825	971,234	937,488		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 (14-20)		21 千円	74,550	74,973	74,943	74,466	74,785	74,999		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号	235		
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	運営管理（指定管理者）			70,475
		建物管理委託			33
		物品リース			55
		ゲートボール場清掃等委託			273
		その他（製版印刷機消耗品の購入ほか）			96
(2) 事業実績	<p>高齢者活動支援センター利用者が使用できるように電位治療器のリース及び保守管理を行いました。また、製版印刷機に係る消耗品を購入しました。</p> <p>高齢者ゲートボール場の利用者が快適に使用できるように便所清掃や樹木剪定等ゲートボール場の維持管理を行いました。また、ゲートボール場を利用する団体の抽選会を実施しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>全国的にゲートボール人口は減少傾向にあり、高齢者ゲートボール場登録団体数は平成12年度の29団体をピークに減少し、平成18年度には17団体となりました。その後、増加に転じ、平成24年度は21団体が登録していましたが、平成25年度から年々減少し平成28年度は16団体となっています。</p> <p>高齢者活動支援センターは昭和58年の開設ですが、隣接する杉並清掃工場の建替工事に伴い、大規模改修工事を実施し、改修後の平成24年5月からは運営をより効果的かつ効率的に行い、利用者がより一層利用しやすい施設とするため指定管理者制度を導入しました。また、高齢者活動支援センターには多目的室と3講座室がありますが、平成26年度から講座室の1室をシルバー人材センターの分室に活用し、平成28年度にははつらつルームを保育室に転用しています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>高齢者活動支援センターを利用する高齢者団体から行政が多目的室・講座室を使用する頻度に対する意見が寄せられました。ほかには、趣味の部屋にあるビリヤードを使用するにあたり初めての利用者には使用しづらい、治療器コーナーにあるマッサージ機を使用するにあたり利用者のモラルが問われる等の声もありました。</p> <p>高齢者ゲートボール場を利用する団体からは、グラウンド整備及び蚊対策に対する要望が寄せられました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>高齢者ゲートボール場登録団体数は、ゲートボール人口の増加要因が当面見当たらないことから、今後もゆるやかな減少傾向は継続すると考えられます。</p> <p>高齢者活動支援センターの使用状況は、第3講座室が平成28年度にシルバー人材センター分室を廃止し返還されたことから利用可能枠数が増えるものの、はつらつルームを利用していた事業や他施設を利用していた行政による使用の増加も見込まれることから稼働率は高水準を保つと思われま。</p>			
評価と課題	<p>高齢者活動支援センターは指定管理者による管理に変更になってから5年が経過し、平成28年度は指定管理期間満了に伴う次期指定管理者の公募を実施しました。区と指定管理者との役割分担も行われており、指定管理者が地域の代表などで組織する「地域懇談会」を実施し意見交換を行うなど施設の円滑な運営に取り組んでいることから、これからも区と指定管理者の連携を継続し、高齢者が安全に活動できるよう運営を行います。また、講座室の稼働状況も平均82%となっており、特に多目的室は90%を超える状況で稼働しています。高齢者団体の使用が半数を占め、高齢者のいきがい活動の支援に寄与しています。</p> <p>高齢者ゲートボール場の管理については、利用団体が管理する範囲の明確化を行っていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	対象の見直し			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>高齢者ゲートボール場については、一部の利用者に限られその利用者においても減少傾向にあるものの、有効な土地活用が見出せるまでは高齢者の健康維持を目的に当該施設を開放し利用普及に努めたいと考えます。</p> <p>高齢者活動支援センターでは、利用者の意見に基づく利用方法の改善など指定管理者と検討を行っていきます。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00226）

事務事業名称			ゆうゆう館の維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	013	整理番号	236
現担当課名			高齢者施策課		係名	施設担当係			連絡先電話番号	1153		事業	1153		昨年度整理番号	234
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和38年度														
	平成28年度担当課名	高齢者施策課								事業評価区分	施設維持管理					
	対象	60歳以上の区民、高齢者団体及びゆうゆう館協働事業参加者				根拠法令等	(1)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例							
							(2)		老人福祉法第4条							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	元気な高齢者の声が響き渡る地域社会が形成できるよう、生涯現役社会の地域拠点として、ゆうゆう館が高齢者のみならず地域住民の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」「憩い」の場として幅広く活用されるようにする。				活動指標	指標名(1)		年間延べ利用者数							
						指標説明		利用団体数（高齢者活動登録団体）								
						指標名(2)										
						指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	利用者がゆうゆう館32館を安全かつ快適に利用できるように維持管理を行う。				成果指標	指標名(1)										
						指標説明										
						指標名(2)										
						指標説明										
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	人	429,061	410,000	447,040	460,000	450,252	460,000	97.9						
	活動指標(2)	2	団体	1,020	1,050	1,087	1,150	1,129	1,150	98.2						
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	67,751	75,029	69,990	74,342	65,885	75,505	平成28年度予算執行率(%)	88.6					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	21,856	27,361	24,955	26,620	23,786	28,326	執行率が88.6%の理由は、光熱水費（主に電気）に残金が生じたことと光電話への切り替えが進み通信運搬費が大幅に削減できたことによる残金です。						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.54	1.36	1.36	1.20	1.34	1.20						
		再任用職員数	9	人	0.22	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.20	0.20	0.15	0.20	0.20	0.20						
	人件費	常勤職員分	11	千円	13,567	11,982	11,896	10,496	11,473	10,274						
		再任用職員分	12	千円	891	1,215	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	566	566	440	587	594	594						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	82,775	88,792	82,326	85,425	77,952	86,373							
	単位当たりコスト(14÷6)÷1	15	円	193	217	184	186	173	188							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源(14-20)		21	千円	82,775	88,792	82,326	85,425	77,952	86,373							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	236	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		光熱水費		32	館	30,175
		施設保守管理委託		32	館	20,758
		消耗品購入、修繕、家屋等修繕		32	館	11,001
		物品・機器リース		32	館	862
	その他（電話料金、物品保守委託、負担金の支出ほか）					3,089
事業環境の変化	(2) 事業実績		ゆうゆう館の利用者が、安全かつ快適に施設の利用ができるように、施設修繕、施設保守管理委託などを行うとともに、老朽化した物品の買い替え及び不足している物品を購入しました。			
	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題		ゆうゆう館の施設・設備の維持管理を行うことで、安全かつ快適な施設の利用について貢献できました。築40年以上のゆうゆう館が半数を占めていることから、老朽化に伴い必要な修繕が増えてきています。同様に老朽化した設備を計画的に更新していく必要はあるものの、規模が大きなものについては滞りがちとなっています。今後も優先して行うべき、建物並びに設備の小修繕を精査しながら、安全で利用しやすい環境を維持していきます。その一つとして、和式便所を洋式便所に取り換える修繕を段階的に進めていきます。 また、杉並区立施設再編整備計画の進捗状況も確認しながら、建て替え予定と重複しないよう修繕や物品購入などを実施します。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性				

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00235)

事務事業名称			ゆうゆう下高井戸館の整備				款	04	項	01	目	07	事業	026	整理番号	246
現担当課名			高齢者施策課				係名		施設担当係		連絡先電話番号		1153		昨年度整理番号	
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分		投資事業	
事務事業の概要	事業開始		平成25年度													
	平成28年度担当課名		高齢者施策課								事業評価区分		施設維持管理			
	対象		60歳以上の区民、高齢者団体、協働事業参加者				根拠法令等		(1)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例		(2)		老人福祉法	
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		区立施設再編整備計画に基づき、下高井戸児童館を改修し、現在高井戸第三小学校の敷地内の暫定施設で開館しているゆうゆう下高井戸館を移転させ、併設施設として開館する。				活動指標		指標名(1)		実施設計の進行状況		指標説明			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		平成28年度中に再移転先の建物の実施設計を完了し改修工事の契約を行う。設計から完成まで、地域住民及び利用者との意見交換に努める。				成果指標		指標名(1)				指標説明			
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				
								指標名(1)				指標説明				
								指標名(2)				指標説明				

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	246	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		実施設計				3,829
		改修工事				29,663
	その他（ ）					
(2) 事業実績	再移転先の建物の実施設計及び改修工事の契約締結を行いました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題	<p>平成29年4月に着工できるように、平成28年度中に改修の基本設計・実施設計を行いました。2階にある児童クラブの育成室をゆうゆう館として活用するためエレベーターを新設します。階段の昇降が厳しい高齢者等への配慮として好評を得ることになると思われます。</p> <p>今までの暫定施設では、土足使用でしたが、再び上履き対応になることへの利用者の理解を得ていきます。また、直営の児童館と委託のゆうゆう館との共存のあり方が課題となるため、今後、所管課と協議していきます。</p> <p>児童館との出入口の共有という施設構造から、児童と高齢者の動線など安全面の配慮を特に注意して運営していきます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
今後の進め方						

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00684）

事務事業名称			ゆうゆう馬橋館の整備			款	04	項	01	目	07	事業	029	整理番号	248		
現担当課名			高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			施設担当	連絡先電話番号	1153	昨年度整理番号	243			
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援			予算事業区分	投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成28年度															
	平成28年度担当課名	高齢者施策課									事業評価区分	施設維持管理					
	対象	60歳以上の区民、高齢者団体、協働事業参加者			根拠法令等	(1)		(2)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 老人福祉法							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	高齢者の生涯現役を応援する地域拠点としてのゆうゆう館と集会施設を複合した新施設を建設する。休館期間を極力短くするために、高齢者の活動の場を提供する。			活動指標	指標名(1)		指標説明		新築工事の進行状況							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成28年7月～平成29年7月まで建設工事を行う。地域住民及び利用者との意見交換に努める。仮施設の解体設計を行う。			成果指標	指標名(1)		指標説明									
区分		単位	平成26年度実績	平成27年度計画		平成28年度計画(目標値)		平成28年度実績		平成29年度計画	平成28年度対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	%		50	50	50	50	100	100.0							
	活動指標(2)	2	%														
	成果指標(1)	3															
	成果指標(2)	4															
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円		32,310	29,230	91,149	88,333	130,638	平成28年度予算執行率(%)	96.9						
	(内)投資的経費等	6	千円				91,149	88,333	0	特記事項							
	(内)委託費	7	千円		32,220	29,162	88,764	87,196	125,710	平成27年度は旧高円寺保健センターの解体を行うための予算で、平成28年度から平成29年度は新設する馬橋複合施設の基本設計・実施設計、改修工事費等となるため予算規模が大きく変更になりました。							
	職員数	常勤職員数	8	人		0.45	0.45	0.32	0.36	0.40	また、平成28年度から平成29年度に債務負担を行い総額316,728,360円(内高齢者施策課分160,049,438円)となっています。						
		再任用職員数	9	人				0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人				0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円		3,965	3,936	2,799	3,082	3,425							
		再任用職員分	12	千円				0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円				0	0	0							
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円		36,275	33,166	93,948	91,415	134,063								
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円		725,500	663,320	55,980	61,640	1,340,630								
	財源	受益者負担分	16	千円				0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円				0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円				0	0	0							
その他の補助金等		19	千円				0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円				0	0	0								
差引：一般財源(14-20)		21	千円		36,275	33,166	93,948	91,415	134,063								
受益者負担比率(16÷14)	22	%				0.0	0.0	0.0									

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		248		
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		新築工事				81,930
		仮設ゆうゆう馬橋館の整備				5,893
		解体設計				510
	その他( )					
(2) 事業実績	ゆうゆう館と集会施設を複合した施設の新築工事と仮設ゆうゆう馬橋館の整備を行いました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)					
	今後の予測					
評価と課題	<p>ゆうゆう馬橋館の新築工事期間中に、利用者が活動できる場を確保したことについて、利用者から満足の声が上がっています。また、新設する複合施設では、今までの施設の2部屋から3部屋へと増えることにより、団体活動の場をより多く提供することが出来るようになり、利用者の利便性は向上します。今後、乳幼児を含む子どもから高齢者まで、多世代が利用できる地域コミュニティ施設への転用・再編整備に向け、モデルとなる取組を検討することや、ゆうゆう館の機能と役割の継承について検討し、定義していくことが課題のため、関係課と協議を進めていきます。</p> <p>また、新しいゆうゆう馬橋館は区民集会所と併設のため、1階にできるラウンジは、誰でも出入りが自由な施設となっています。そのため安全面に特に注意して運営していきます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
今後の進め方						

〈施策評価〉

目標□ △△△△△△△△△

施策○ □□□□□□□□□

施策目標 (平成33年度の姿)			
成果指標	28年度目標	28年度実績	目標値(33年度)

【所管による自己評価】

施策の総合評価 (計画事業の取組実績と評価結果)																				
今後の施策の方向	<input type="radio"/> 拡充	<input checked="" type="radio"/> サービス増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 効率化	<input type="radio"/> 縮小・統廃合															
改善・見直しの方向(中長期)	<p>○今後の施策の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拡充……コストを増やし、成果をさらに上げる</li> <li>・サービス増……コスト維持のまま、効率化や手法の転換等により成果を向上させる</li> <li>・現状維持……コスト・成果とも現状を維持する</li> <li>・効率化……コストを削減する一方で、効率化や手法の転換により成果を維持する</li> </ul>																			
総合計画最終年度 (平成33年度)を見据えて、今後の施策のあり方や方向性を記入している。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>成果増</th> <th>成果維持</th> <th>成果減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コスト増</td> <td>①拡充</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>コスト維持</td> <td>②サービス増</td> <td>③現状維持</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>コスト減</td> <td>-</td> <td>④効率化</td> <td>⑤縮小</td> </tr> </tbody> </table>					成果増	成果維持	成果減	コスト増	①拡充	-	-	コスト維持	②サービス増	③現状維持	-	コスト減	-	④効率化	⑤縮小
	成果増	成果維持	成果減																	
コスト増	①拡充	-	-																	
コスト維持	②サービス増	③現状維持	-																	
コスト減	-	④効率化	⑤縮小																	

【外部評価】

施策内容への評価	<p>○評価の視点や課題認識、内容は適切か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・費用対効果 ・効率化 ・区民サービスの向上 ・事業の改善</li> <li>・実施方法 など</li> </ul> <p>○改善・見直しの方向性や取組が妥当か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改善・見直しに当たり、留意すべき点などについて、不足している視点がないか</li> </ul>				
今後の施策の方向	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> サービス増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 効率化	<input type="radio"/> 縮小・統廃合
評価表の記入方法などについての評価	<p>○分かりやすい記載内容か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章構成や表現がわかりやすいか</li> <li>・どのような視点や項目があったら、よりわかりやすくなるか</li> </ul> <p>○指標(活動指標・成果指標)が適切か</p>				
施策を構成する事務事業についての意見					

【外部評価に対する所管の対処方針】

--

